



DU7099Z+
DU7199Z+
DU7299Z+

說明書

目次

1. 一般情報	5
著作権.....	5
免責条項.....	5
商標の認識.....	5
重要な安全上の注意事項	6
使用されている記号.....	6
安全に関する全般的情報.....	6
使用されている記号.....	6
レーザーに関する警告	7
レーザーに関するパラメータ.....	7
リスクグループ 3 レーザーの危険性に関する設置上の注意事項	8
警告ラベル	9
レーザー開口部の位置	10
インターロックスイッチ	10
全般的な通知	11
電源.....	11
プロジェクターを清掃する.....	11
法規制についての警告.....	11
記号の説明.....	11
レーザー光線には、特に注意してください!.....	11
日光に関する警告.....	11
2. 始めましょう	12
パッケージの内容	12
プロジェクターの特長	13
プロジェクターの機能	13
ソースデバイスとの接続	14
コントロールキーパッド.....	14
リモコン (SRC) + 機能	15
制御 ID 番号の設定.....	16
操作範囲.....	17
電池.....	17
設置ガイド	18
設置場所の確認.....	18
冷却に関する注意.....	18
設置に関する注意.....	19
設定および投映オプション.....	19
プロジェクターの取り付け.....	20
カスタムスタンドマウント設置の場合の順守事項.....	20
光学レンズを取り付ける/取り外す.....	21
レンズシリーズ.....	22

目次

プロジェクタースタートガイド	23
1 電源およびソースデバイスの接続.....	23
2 電源オン/オフ.....	23
3 ソースデバイスの選択.....	23
4 プロジェクターの傾きの調整.....	24
レンズシフトを使って投映画像の位置を調整する.....	24
3. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー設定	25
OSD メニュー制御	25
OSD をナビゲートする.....	25
入力メニュー	26
オートソース.....	26
HDMI.....	27
アナログ.....	27
3D.....	27
信号電源オン.....	28
テストパターン.....	28
ピクチャーメニュー	29
ピクチャー.....	30
輝度.....	30
コントラスト.....	30
カラーマネージャ.....	30
詳細.....	31
ピクチャーモードリセット.....	31
整列めにゅー	32
アスペクト比.....	33
ズーム.....	33
台形補正.....	33
4 コーナー.....	33
マスキング.....	33
投映.....	33
画面設定.....	33
レンズ設定.....	34
アライメントのリセット.....	34
制御メニュー	35
ダイレクトパワーオン.....	36
光源.....	36
高高度.....	36
IR (赤外線) 制御.....	36
リモートコントロール ID.....	37
HDBaseT.....	37
ネットワーク.....	37
Art-Net セットアップ.....	43
レンタルモード.....	44

目次

設定メニュー	45
エコ	46
オーディオ	46
エアフィルタ	46
ブランク画面の色	46
メニュー	46
キーパッドロック	46
セキュリティロック	47
言語	47
環境ステータス	47
すべてリセット	48
情報画面	48
4. メンテナンス	49
エアフィルターの清掃	49
フィルターの交換	50
5. トラブルシューティング	52
一般的な問題と解決方法	52
トラブルシューティングのヒント	52
LED インジケータのメッセージ	53
イメージの問題の Q&A	54
光源の問題	54
リモコンの問題	54
音声の問題	55
プロジェクターを点検修理に出す	55
HDMI の Q&A	56
6. 仕様	57
プロジェクターの寸法	57
プロジェクターのデータシート	58
プロジェクターのタイムテーブル	59
7. 法規制の順守	61
FCC警告	61
カナダ	61
安全性認定	61
廃棄とリサイクル	61
8. RS-232 通信	62
通信パラメータの設定	62
操作コマンド	62
Lens related function	70
9. サービス	71

1. 一般情報

著作権

本書(すべての写真、図、ソフトウェアを含む)は、国際著作権法によって保護されており、無断転載は禁じられています。著者の許諾を受けることなく、本マニュアルおよび本マニュアル中の資料を複製することは禁じられています。© Copyright 2023

免責条項

本書の情報は、通知なしに変更することがあります。製造元は、本書の内容に関していかなる表明も保証も行わず、また商業的価値や特定目的への適合性に対する黙示的保証を特定の表明するものではありません。製造元は、本書を随時改訂して、本書の内容を随時変更する権利を保有します。その際には、製造元は、誰に対しても改訂および変更について連絡する義務はないものとします。

商標の認識



Kensington は、全世界における登録交付済みおよび申請中の ACCO Brand Corporation の米国登録商標です。



HDMI、HDMIロゴ、ハイディフィニションマルチメディアインターフェースは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国々における商標または登録商標です。



HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。

本マニュアルで使用されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者に帰属し、承認されています。

重要な安全上の注意事項

**重要：**

プロジェクターをお使いに鳴る前に、本セクションを必ずお読みください。本セクションにある安全上の注意事項と使用上の注意事項は、長期に渡ってプロジェクターを安全にお使いいただくためのものです。本マニュアルは後日参照できるように保管してください。

使用されている記号

装置と本書で使用されている警告の記号は、危険な状態について注意喚起するためのものです。本マニュアルでは、次の記号を使って重要な注意事項を表わします。

注記：

トピックスに関する追加情報を提供します。

**重要：**

見落としてはならない追加情報を提供します。

**注意：**

装置を損傷する状況について注意喚起します。

**警告：**

装置の損傷、危険な環境の作成、または負傷につながる状況について注意喚起します。

本マニュアルでは、コンポーネントパーツおよび OSD メニュー内の項目は、次の例にあるように、太字で書かれています。

「リモコン上の **Menu** (メニュー) ボタンを押して、**Main** (メイン) メニューを開きます。」

安全に関する全般的情報

- ユニットケースは開けないでください。ユニット内には、ユーザーが修理できる部品はありません。点検修理については、資格のあるサービス担当者までご連絡ください。
- 本マニュアルおよびユニットケースにある警告および注意を遵守してください。
- 光源が点灯している場合は、レンズを覗き込まないでください。目を傷める危険があります。
- ユニットは不安定な面、カート、スタンドには置かないでください。
- 水気のあるところ、直射日光にさらされる場所、または加熱装置の傍でシステムを使用しないでください。
- ユニットの上には、本や鞆など重いものを置かないでください。

使用されている記号

本製品は、本装置を操作する能力のある大人を対象としています。

プロジェクターのモデル番号およびシリアル番号をメモし、この情報を将来のメンテナンスのため保管してください。また、装置を紛失した場合、または、盗難に遭った場合、この情報を警察に報告するために使用することができます。

モデル番号:

シリアル番号:

レーザーに関する警告

レーザーに関するパラメータ



レーザー光 - 目を直接曝露させないようにしてください。

レーザーを人または反射物に向けたり、レーザー光が直接または反射して、人または反射物に当たらないようにしてください。



直接光または散乱光は、目または皮膚に危険を及ぼす恐れがあります。

本書に記載される指示に従わない場合、目をレーザー放射に曝露する危険があります。

注意 - 本書に記載される以外の制御、調整、または手順を行うと有害なレーザー光を浴びる可能性があります。

波長	449nm ~ 461nm (青)
動作モード	パルス式 (フレームレートによる)
パルス幅	1.12 ミリ秒
パルス繰り返し率	120 Hz
最大レーザーエネルギー	0.611 mJ
総内部電力	>100w
仮想ソースサイズ	>10 mm (絞りにおいて)
ビームの開き	>100 ミリラジアン

リスクグループ 3 レーザーの危険性に関する設置上の注意事項



この製品はリスクグループ 3 のレーザー製品です。安全な場所に設置し、資格を有し専門的に訓練された人員が取り扱う必要があります。

プロジェクターの内部ハードウェアにアクセスしないでください。レーザーモジュールを変更したり取り外したりしないでください。

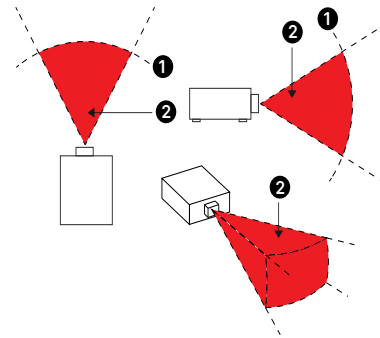
保護カバーを取り外した状態でプロジェクターを操作しないでください。

レンズを取り外した状態でプロジェクターを操作しないでください。

レンズの取り付けや取り外しについては、資格を持った専門家に相談ください。

光の危険に関する警告

- 危険距離 ① とは、投影レンズから測定された、単位表面あたりの強度またはエネルギーが角膜または皮膚への適用可能な露出限界よりも低い距離です。
- 危険区域 ② とは、投影レンズから、投影されたビームが危険であると考えられる場所を囲む危険距離までの領域です。
- 人が危険距離内にいる場合、ビームに曝露すると安全ではないと考えられます。

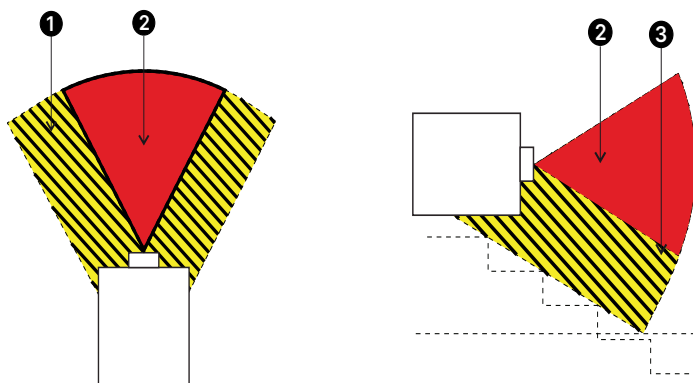


レンズの P/N と仕様	(IEC/EN 62471-5) 危険距離 (m)							
	D86-0711	D86-1113	D86-1216	D86-1519	D86-1929	D88-SMLZ01	D88-LOZ101	D88-LOZ201
	0.77 - 1.1	1.1 - 1.3	1.25 - 1.60	1.54 - 1.93	1.93 - 2.9	2.22 - 3.67	3.58 - 5.38	5.31 - 8.26
リスクグループ	RG2	RG2	RG2	RG2	RG3	RG3	RG3	RG3
危険距離 (HD)	0m	0m	0m	0m	1.25m	2.00m	2.50m	3.30m

制限区域

危険区域の周囲には制限区域を設け、身体のかなる部分も危険区域に入らないようにする必要があります。

- 水平方向の余裕 ①。これは危険区域 ② の周囲 2.5m 以上である必要があります。
- 垂直方向の余裕 ③。プロジェクターを頭上に設置する場合、危険区域 ② と床の間は 3 メートル以上離す必要があります。



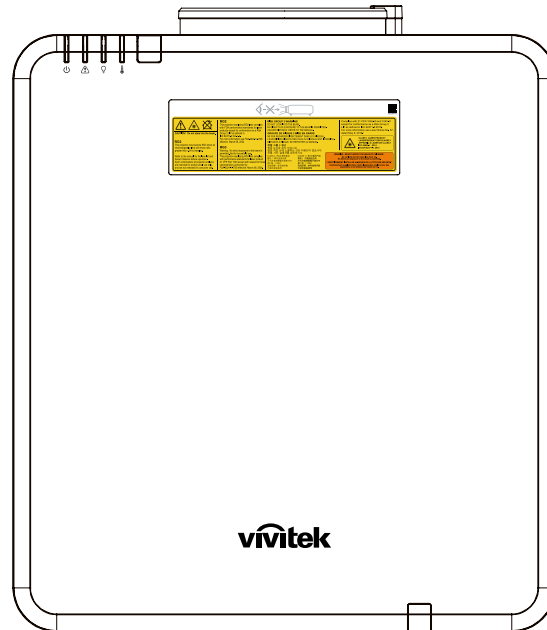
RG3 IEC 62471-5:2015 により、ビームへの直接曝露は許可されていません。

管理者は、危険距離内でビームへのアクセスを制御するか、危険区域内で観客の目が露出するのを防ぐのに十分な高さにプロジェクターを設置する必要があります。

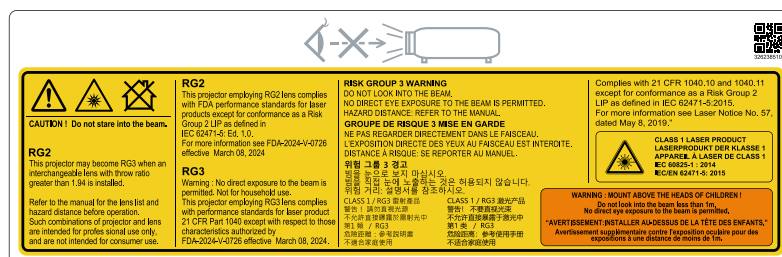
プロジェクターを頭上に設置する場合は、床面とリスクグループ 3 の領域の間に最低 3 m の距離を確保してください。

警告ラベル

安全に関する危険および警告情報ラベルは、次の場所に配置されます。

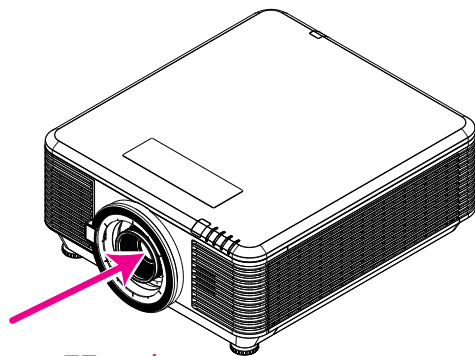


危険警告記号、開口ラベル、説明ラベル



レーザー開口部の位置

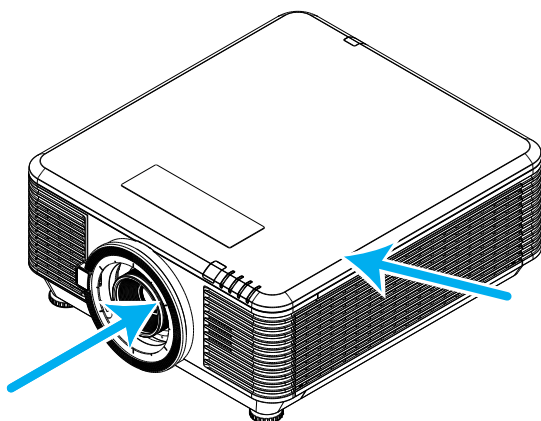
下の図は、レーザー開口部の位置を示します。目で直接光を見ないように注意してください。



レーザー開口部

インターロックスイッチ

本装置には、レーザー光の漏れを防止するために、2つのインターロックスイッチ (上部カバー x 1、レンズ x 1) が装備されています。



1. 上部カバーが取り外されると、システムは、自動的に電源を切ります。
2. レンズが取り外された場合、または正しく取り付けられていない場合、システムの電源が個別にオフになります。

全般的な通知

電源

- 付属の電源コードだけをお使いください。
- 電源コードの上には物を置かないでください。電源コードは踏まれないように配線してください。
- 保管したり、長期間使用しない場合は、バッテリーをリモコンから取り外します。

プロジェクターを清掃する

- 清掃の前に、電源コードの接続を外します。
- 光源が冷めるまで約 1 時間待ちます。

法規制についての警告

プロジェクターを取り付けて使用する前に、法規制の順守 (61 ページ) の法規制についての警告をお読みください。

記号の説明



廃棄: 電気電子機器を廃棄する場合、家庭廃棄物または都市廃棄物収集サービスを使用しないでください。欧州連合加盟国では、リサイクルのための分別収集が求められています。

レーザー光線には、特に注意してください!

同じ部屋で、DLP プロジェクターと高出力レーザー機器を使用する場合は、特別な注意を払うようにしてください。レーザー光線がプロジェクターレンズに直接的または間接的に当たると、デジタルミラーデバイス (DMD™) に重大な損傷を与える可能性があります。

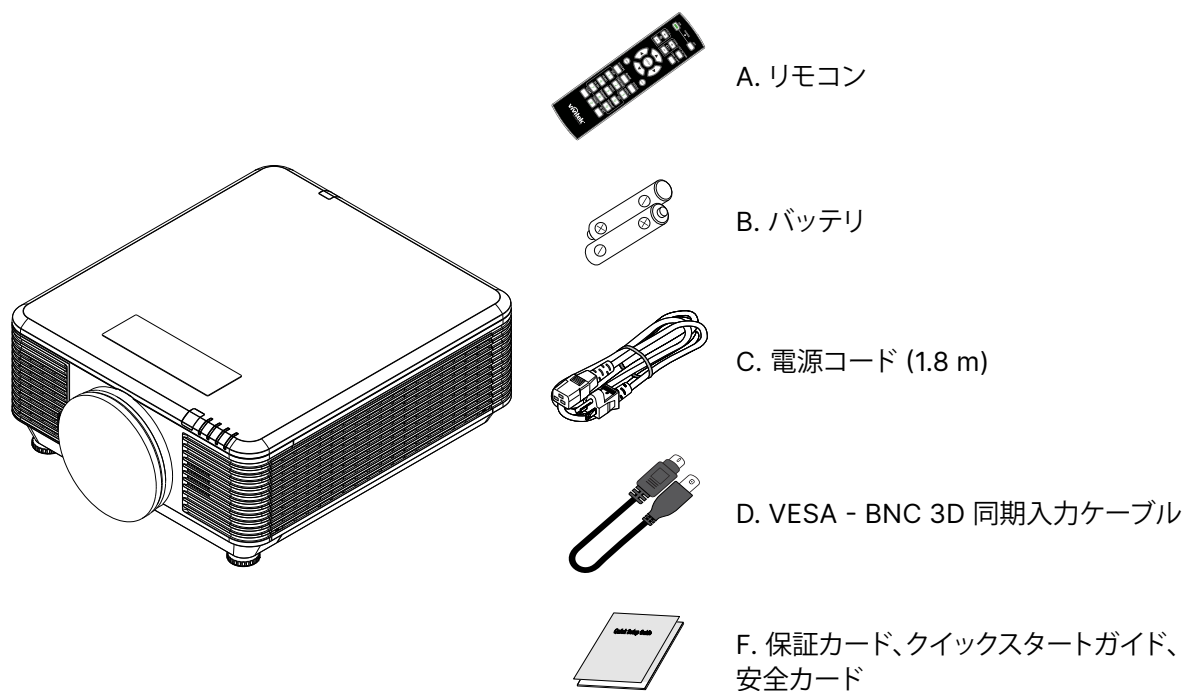
日光に関する警告

このシリーズのプロジェクターを直射日光下で使用しないでください。日光がプロジェクターレンズに当たると、デジタルミラーデバイス (DMD™) に重大な損傷を与える可能性があります。

2. 始めましょう

パッケージの内容

プロジェクターを丁寧に開梱して、次のものがすべて揃っていることを確認します。

**注記:**

不足しているものや破損しているものがある場合や、ユニットが動作しない場合は、直ぐに販売代理店までご連絡ください。後日、装置を保証点検修理に出す場合のために、元の梱包材を保管することを推奨します。

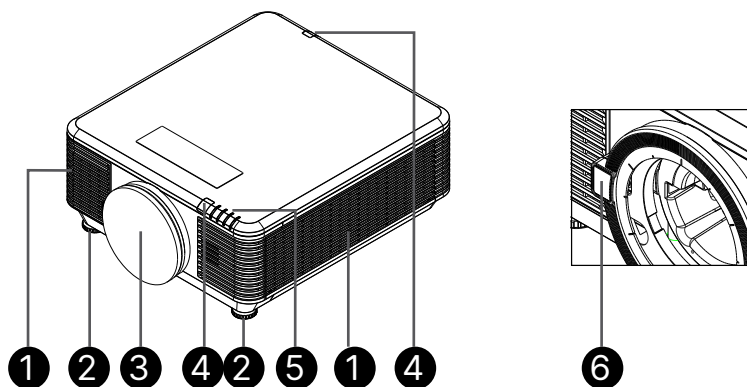
**注意：**

プロジェクターは埃の多い場所では使用しないでください。

プロジェクターの特長

- NTSC、PAL、SECAM などの主なビデオ標準すべてに対応します。
- 高輝度なので、日中や照明を付けた室内でもプレゼンテーションできます。
- フレキシブルにセットアップできるので、前面投映、背面投映ができます。
- 角度のある投映では、アドバンスドキーストーン補正が投映画像を正方形に維持します。
- 入力ソースを自動検出します。
- 高輝度投映のためあらゆる環境に適合します。
- クリアで鮮明な画像のため最大 4K UHD までの解像度をサポートしています。
- Texas Instruments の DLP® および BrilliantColor™ テクノロジーを採用しています。
- レンズのセンタリング機能により簡単な設置を可能します。
- 水平および垂直方向にレンズをシフトします。
- RJ45 を介して、統合およびシステム管理用にネットワーク対応しています。
- シールドされたエンジンが埃や煙の影響を最小化します。
- 盗難防止セキュリティ機能として、ケンジントンセキュリティスロット、セキュリティバーを含みます。
- 内蔵 HDBaseT 受信機。HDBaseT™ は、標準的な CAT5e/6 LAN ケーブル上で、HD ビデオ、デジタルオーディオコンテンツを配信し、RS232、RJ45 および IR 機能とインターフェースします。
- 高度なレーザー蛍光体光エンジンが、優れた輝度と色の均一性を実現します。
- レーザー設計により、最大 20,000 時間の動作時間を実現します。

プロジェクターの機能



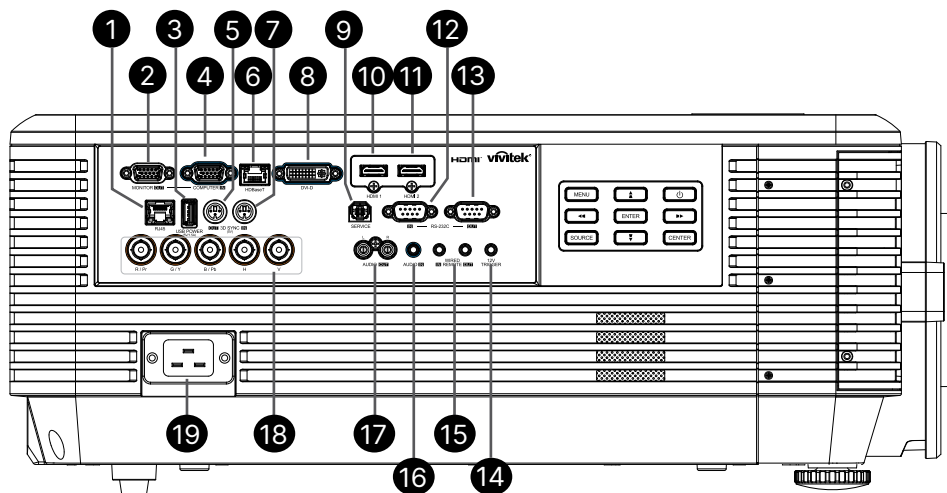
1. 通気口 (吸気)
2. チルトフィート
3. レンズフィルタスポンジ

4. IRレシーバー
5. LED インジケータ
6. レンズ解除ボタン

**重要：**

プロジェクターの通気開口部は、空気を循環してプロジェクターの光源が過熱しないようにするためのものです。通気開口部は塞がないでください。

ソースデバイスとの接続



1. RJ45
2. MONITOR OUT
3. USB 電源 (5V/1.5A)
4. コンピューター入力
5. 3D 同期出力 (5V)
6. HDBaseT
7. 3D 同期入力 (5V)
8. DVI-D
9. サービス
10. HDMI 1
11. HDMI 2
12. RS-232C 入力
13. RS-232C 出力
14. 12V トリガー
15. 有線リモコン入力/出力
16. オーディオ入力
17. AUDIO OUT L/R (オーディオ出力 L/R)
18. BNC
19. AC 入力

コントロールキーパッド

- | | |
|--|--------------|
| | 電源 I/O |
| | MENU (メニュー) |
| | SOURCE (ソース) |
| | 中央 (中央レンズ) |
| | ENTER (エンター) |
| | ナビゲート |

注記:

- この機能を使用するには、プロジェクターをオン/オフにする前に、コネクタを接続します。
- スクリーンメーカーが対応するスクリーンコントローラが付属しています。
- このジャックは定められた用途以外には使用しないでください。

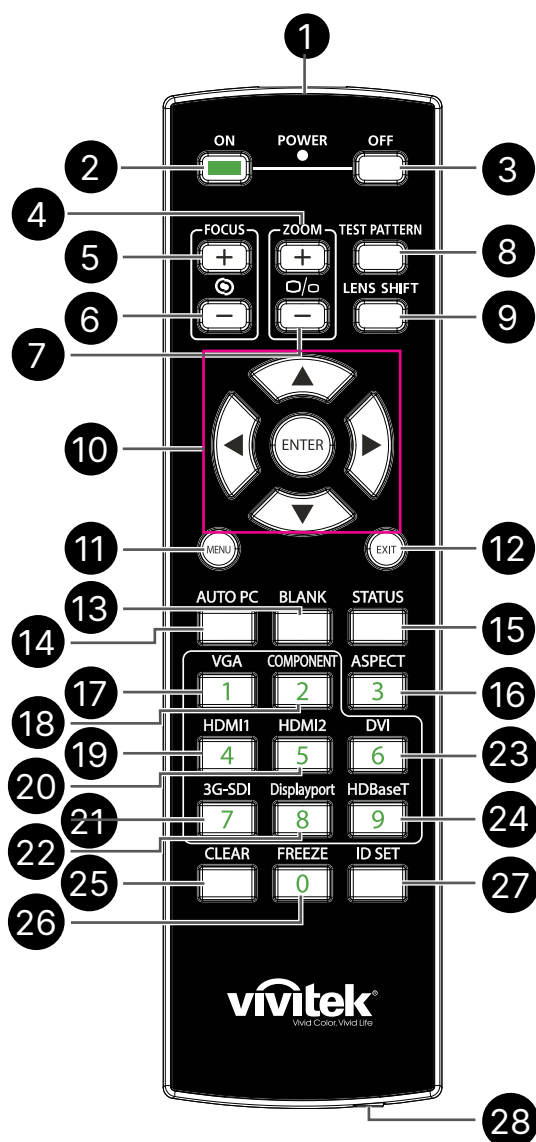


警告：

安全のために、接続する前に、プロジェクターと接続する機器の電源を切ります。

リモコン (SRC) + 機能

1. 赤外線トランスミッター
2. 電源オン
3. 電源オフ
4. ズーム +
5. フォーカス +
6. フォーカス -
7. ズーム -
8. テストパターン
9. レンズシフト
10. ナビゲーション
11. メニュー
12. 終了
13. BLANK (ブランク)
14. オート PC
15. 状態
16. アスペクト / ID 3
17. VGA / ID 1
18. コンポーネント / ID 2
19. HDMI1 / ID 4
20. HDMI2 / ID 5
21. 3G-SDI / ID 7 (利用できません)
22. Displayport / ID 8 (利用できません)
23. DVI / ID 6
24. HDBaseT / ID 9
25. 消去
26. フリーズ/ID 0
27. ID 設定
28. 有線ジャック



重要：

1. 明るい蛍光灯を点灯した場所でプロジェクターを使用することはお止めください。高周波蛍光灯は、リモコンの動作を妨げることがあります。
2. リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認します。リモコンとプロジェクターの間に障害物があると、プロジェクター画面などの反射面で信号がオフになることがあります。
3. プロジェクター上のボタンとキーの機能は、リモコン上の対応するボタンの機能と同じです。本ユーザーズマニュアルでは、リモコンに基づいて機能について説明します。

制御 ID 番号の設定

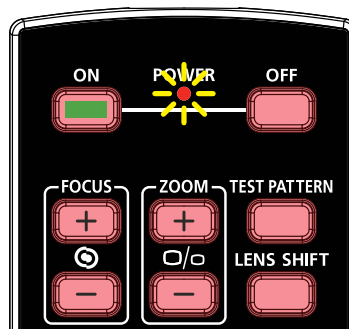
[制御 ID 番号] オプションを選択して Enter ボタンを押し、▶ ボタンを使用して数値を増やすか、◀ ボタンを使用して数値を減らします。このオプションは、プロジェクター ID 制御がオンの場合に使用できます。

リモコンの ID 番号を設定する

リモコンの ID SET ボタンを約 5 秒間押し続けると、電源 LED インジケータが赤色で定期的に点滅します。2 桁の数字を押して希望の ID 番号を設定します。ゆっくり押すごとに行います。リモコンの設定が確認されると、電源 LED が点灯します。

ID SET ボタンを約 5 秒間長押し 電源 LED が点滅しています

2 桁の ID 番号を押します



注記:

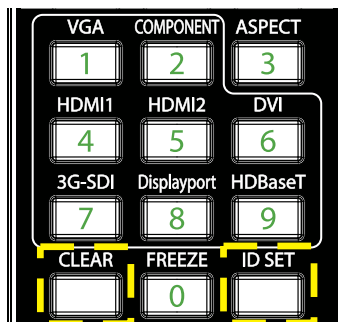
ID 番号を設定すると、設定した ID 番号は上書きされます。リモコンに新しい ID 番号を設定したい場合は、ID 番号を直接設定できます。

リモコンの ID 番号を消去する

新しい ID 番号を設定すると、設定された ID 番号は上書きされます。ID SET ボタンと CLEAR ボタンを押すと、リモコンの ID 番号を消去できます。

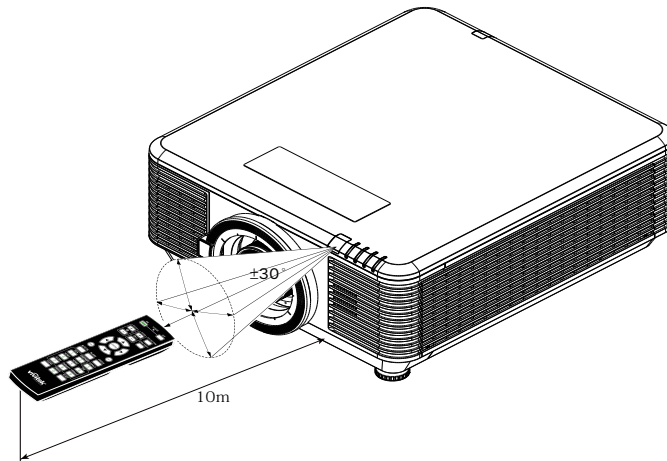
ID SET ボタンと CLEAR ボタンを同時に押します

ボタンのバックライトが 1 回点滅します



操作範囲

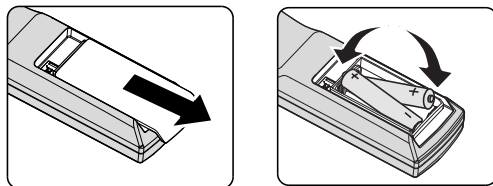
- リモコンは赤外線伝送を使ってプロジェクターを制御します。
- リモコンはプロジェクターに直接向ける必要はありません。
- リモコンは、半径約 10 m (25 フィート)で、プロジェクターのレベルの上下 15 度の垂直角度の範囲で正常に機能します。



注記:

プロジェクターがリモコンに反応しない場合は、近くに移動するか、バッテリーを交換してください。

電池



- バッテリー収納部のカバーをスライドイン/アウトさせます。
- 正極を上向きにしてバッテリーを挿入します。



注意:

1. 単 4 バッテリーだけを使用します (アルカリバッテリーを推奨します)。
2. 使用済みバッテリーを廃棄する際には、お住まいの地域の規制に従ってください。
3. プロジェクターを長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外します。

設置ガイド

設置場所の確認

- 電源を供給するには、3 ブレード (アース用リード付き) ソケットを使用して、プロジェクターシステムのすべての機器にアースが施され接地電位が均等になっていることを確認します。
- プロジェクターに付属する電源コードを使用してください。付属の電源コードがない場合は、他の適切な 3 ブレード (アース用リード付き) 電源コードを代用できますが、2 ブレード電源コードは使用しないでください。
- 電圧が安定しており、適切にアースされ、漏電がないことを確認します。
- 合計消費電力を測定し、それが安全容量を超えないことを確認し、安全問題とショートを避けます。
- 高地では、高度モードをオンにします
- プロジェクターは角度や向きの制限なく設置することができ、適切に機能します
- 設置ブラケットがしっかり固定され、プロジェクターの重量を支えられることを確認します
- エアコンのダクトやサブウーファアの傍への設置は避けてください。
- 高温、不十分な冷却および埃の多い場所への設置は避けてください。
- 赤外線干渉に起因する誤動作を避けるために、蛍光灯に近づけないでください (1 メートル超離してください)。
- VGA 入力コネクタが VGA 入力ポートにしっかり接続されていることを確認します。最適の表示効果を得るためには、信号線が適切に接続されるように、ねじの両側をきつく締め付けて、しっかり挿入します。
- オーディオ入力コネクタは、オーディオ入力ポートに接続する必要があります。オーディオ出力ポート、BNC、RCA などの他のポートに接続しないでください。
- 電源を入れる前に、電源コードと信号ケーブルが正しく接続していることを確認します。プロジェクターの起動と操作プロセスの間、プロジェクターの損傷を避けるため、信号ケーブルや電源コードの挿入/取り外しは行わないでください。

冷却に関する注意

排気

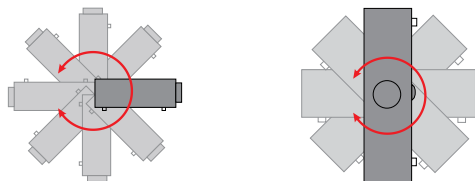
- 冷却が妨げられないように、空気吹き出し口から50cm以内に妨害物を置かないようにしてください。
- イリュージョンの原因となるため、他のプロジェクターのレンズの前に空気吹き出し口がこないようにしてください。
- 空気吹き出し口は、他のプロジェクターの吸入口から100cm以上離すように設置してください
- プロジェクターは、使用中大量の熱を発生させます。内部のファンは停止しているときプロジェクターの熱を放散しますが、このプロセスは一定時間続きます。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、AC電源ボタンを押してプロジェクターをオフにして電源コードを外します。停止プロセスの間電源コードを外さないでください。プロジェクターが損傷する原因となります。停止後に発生する熱放射が、プロジェクターの耐用年数に影響を与えることもあります。停止プロセスは、使用するモデルによって異なることがあります。いずれにせよ、プロジェクターがスタンバイ状態に入るまで絶対に電源コードを外さないでください。

吸気

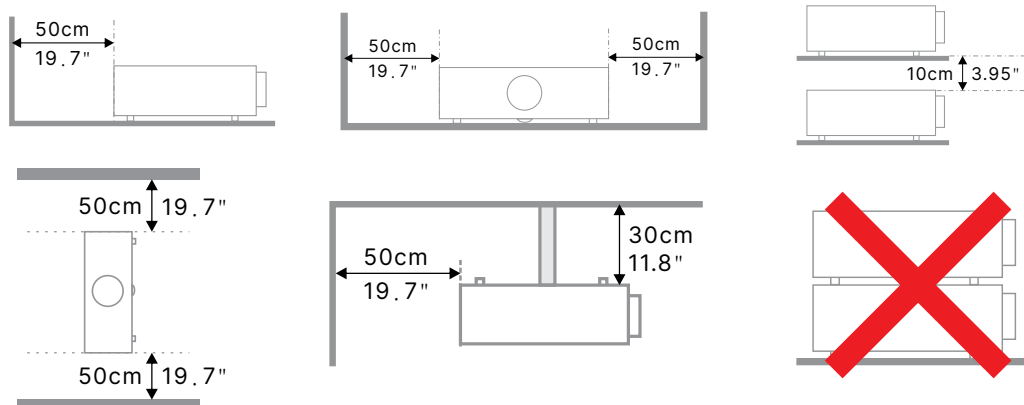
- 空気吸入を妨げる物体を吸入口から30cm以内に置かないようにしてください。
- 吸入口は他の熱源に近づけないでください
- きわめて埃の多い場所は避けてください

設置に関する注意

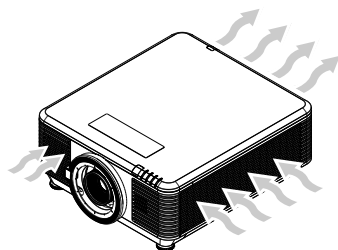
- プロジェクターの設置に対する角度制限はありません



- すべての排気口の周りに最低 500 mm (19.7 インチ) の空間を保ちます。

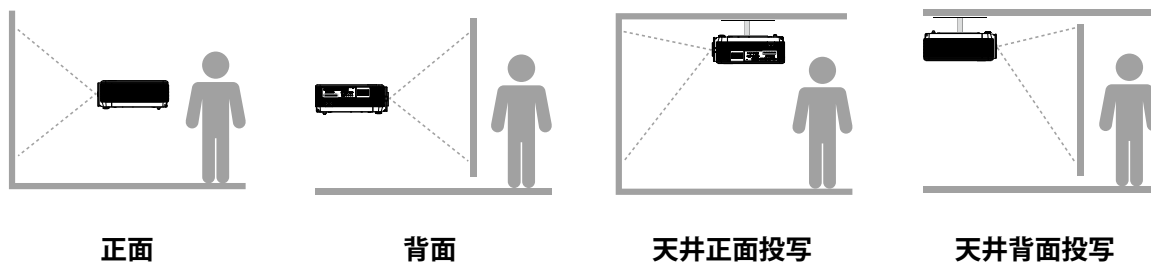


- プロジェクターを囲まれた空間で使用する場合は、周囲空気温度が動作温度を超えないようにします。また、吸気口と排気口を塞がないようにします。

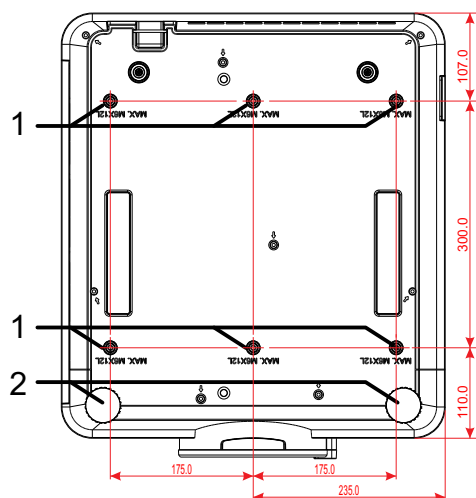


- 吸気口から排気口から出た熱い空気を取り込まないようにしてください。排気を再利用している場合、エンクロージャーの温度が許容される動作温度範囲に収まっている場合でも装置が停止する原因となります。
- 使用するエンクロージャは、プロジェクターが排気を取り込まないことを保証するため、認定熱評価に合格していることが必要です。

設定および投映オプション



プロジェクターの取り付け



注意：

取り付けの際には、UL 規格の天井マウントだけを使用します。

天井に取り付ける場合は、認可された天井取り付け用ハードウェアと最大ねじ深さが 12 mm (0.47 インチ) の M6 ねじを使用します。

天井マウントの構造は形状と強度に適合しなければなりません。天井マウントの負荷能力は、取り付けの装置の重量を上回らなければなりません。また、装置の重量の 3 倍の重量に 60 秒以上耐えることができません。

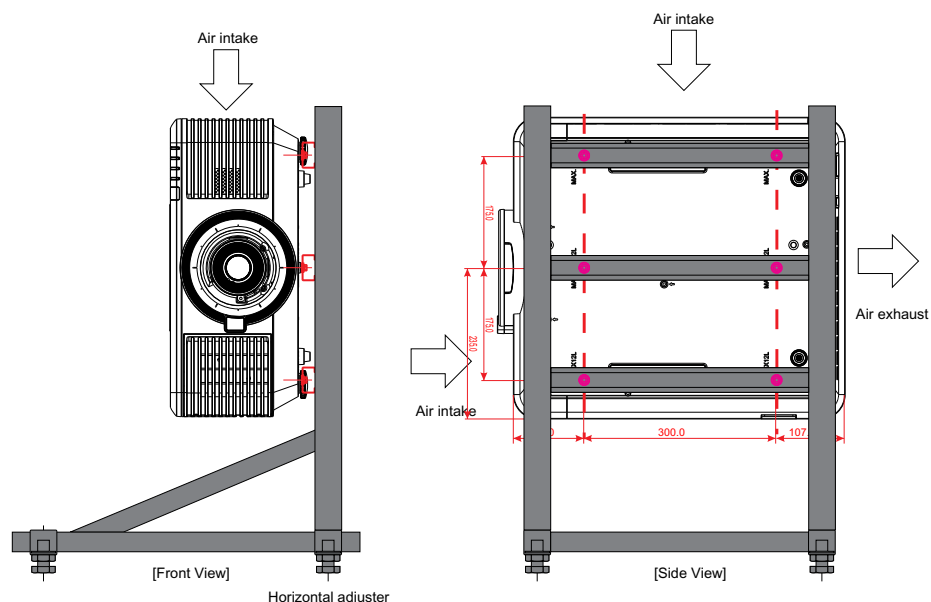
カスタムスタンドマウント設置の場合の順守事項

縦向きなどカスタム設計マウント設置を行う場合は、以下を順守してください：

- 6 本のネジを使って、プロジェクターをマウントにしっかりと固定します。
- ネジ穴中心寸法: 300 x 350 (ピッチ = 175) mm
- プロジェクターの重量を支え、転倒を防止できる安定したベース設計を確認してください。

注記:

以下の図面は参照用です。正確なスタンドの設計図ではありません。



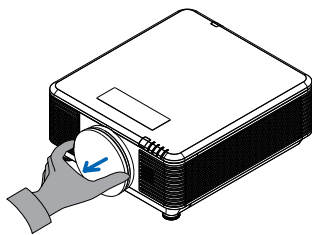
光学レンズを取り付ける/取り外す



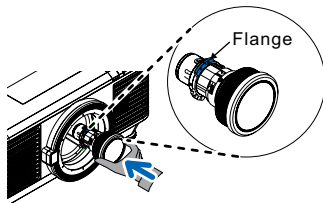
注意：

1. プロジェクターとレンズ部品には精密部品が含まれているため、プロジェクターやレンズ部品に振動を与えたり、過剰な圧力を掛けたりしないでください。
2. レンズの取り外しや取り付け前には、プロジェクターの電源を切り、冷却ファンが停止するのを待ち、それから主電源スイッチをオフにしてください。
3. レンズの取り外しや取り付けの際にはレンズ表面には触れないでください。
4. レンズ表面には指紋、埃、油分を付着させないようにしてください。
5. レンズ表面に傷を付けないでください。
6. 傷を付けないように、水平面に柔らかい布を敷いて、その上で作業してください。
7. レンズを取り外し、保管する場合には、埃や汚れが付かないように、プロジェクターにレンズキャップを取り付けます。

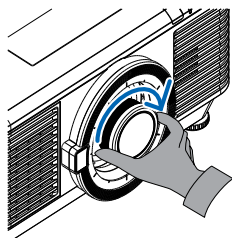
新しいレンズを取り付ける



レンズフィルタスポンジを外します。

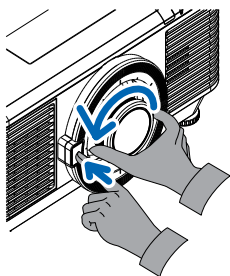


図に示すように、フランジを位置合わせして正しく配置します。



レンズを右に回して、カチッと音がして定位置に納まるようにします。

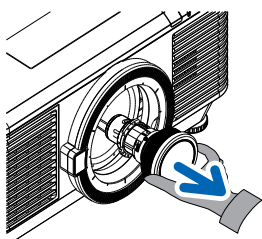
プロジェクターからレンズを取り外す



LENS RELEASE ボタンをロック解除位置まで押します。

レンズをつかみます。

レンズを左に回します。
レンズが外れます。



レンズをゆっくりと引き出します。

レンズシリーズ

プロジェクター用のオプション電動レンズは下表の通り 8 種類を用意しております。詳細については、Vivitek の正規販売店にお問い合わせください。

レンズグループ (オプション)

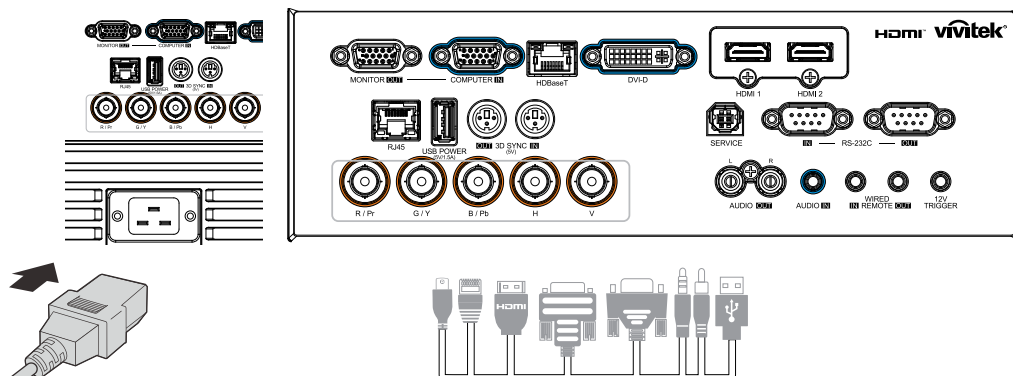
レンズ	スローレシオ	ズーム比	イメージサイズ (対角)	投映距離
短焦点ズーム D86-0711	0.77 - 1.1	1.42x	42.3 インチ - 300 インチ	1 - 4.98 m
標準短焦点 D86-1113	1.1 - 1.3	1.18x	35.8 インチ - 379.8 インチ	1 - 9 m
準短焦点 D86-1216	1.25 - 1.60	1.28x	39.1 インチ - 300 インチ	1.35 - 8.08 m
標準 D86-1519	1.54 - 1.93	1.25x	48.2 インチ - 300 インチ	2 - 10 m
長焦点 D86-1929	1.93 - 2.9	1.5x	32.1 インチ' - 481.1 インチ	2.0 - 20 m
セミロングズーム D88-SMLZ01	2.22 - 3.67	1.65x	40 インチ - 500 インチ	1.05 - 19.59 m
ロングズーム D88-LOZ101	3.58 - 5.38	1.5x	40 インチ - 500 インチ	1.05 - 19.59 m
ロングズーム D88-LOZ201	5.31 - 8.26	1.55x	40 インチ - 500 インチ	1.05 - 19.59 m

注記:

上記のズームレンズの最高性能は、垂直シフト -40% ~ 50%、水平シフト ±13% 以内で達成されますが、プロジェクターはより広い調整可能なシフト範囲をサポートし、設置の柔軟性を高めることができます。

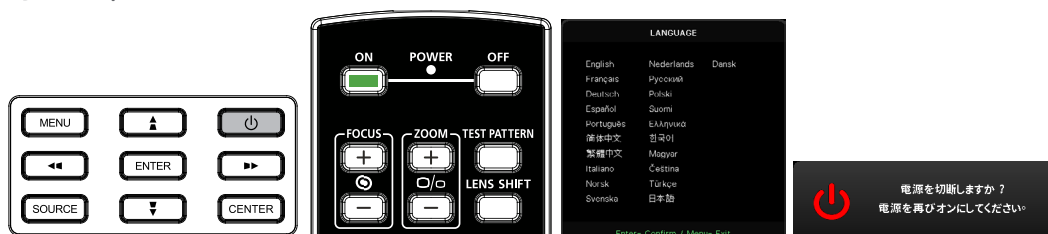
プロジェクタースタートガイド

1 電源およびソースデバイスの接続



- 付属の電源コードおよびソースデバイスをしっかり接続します。
(HDMI、USB、VGA、RJ45、コンピューター、HDBaseTなど)
接続すると、電源 LED が緑色の点滅から緑色の点灯に変わります。

2 電源オン/オフ



- 電源オン: ① プロジェクターまたはリモコンの **[オン]** を押します。
電源 LED が緑色に点滅します。
スタートアップ画面が約 30 秒間表示されます。
- 初めてプロジェクターの電源をオンにするときに、優先言語を選択できます。
[47 ページ](#)の「言語の設定」を参照してください。
- 電源オフ: ① プロジェクターまたはリモコンの **[オフ]** を押します。
メッセージ「電源をオフにしますか？/電源を再びオンにしてください。」が画面に表示されます。
もう一度 POWER ボタンを押して、プロジェクターの電源がオフであることを確認します。

3 ソースデバイスの選択

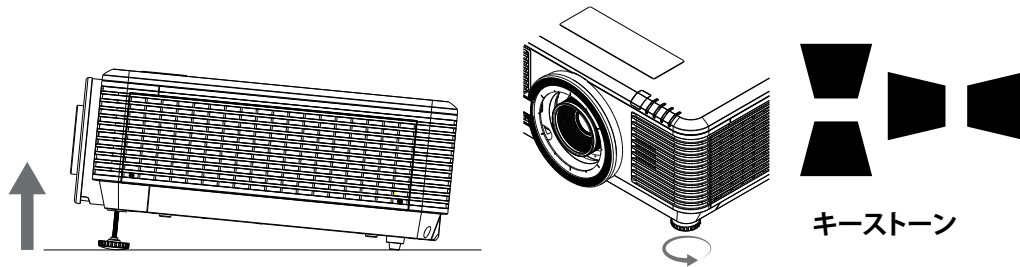
- **[ソース]** ボタンを押し、▼▲を使用して、ソースデバイスをスクロールします。
- ◀ を押してソースデバイスを選択します。



注記:

コンポーネントは、RGB - コンポーネントアダプタを通してサポートされます。
1 本の HDBaseT CAT5e ケーブル (またはそれ以上の規格のケーブル) を使用すると、プロジェクターは、100 m/328 フィートの HDBaseT 接続距離をサポートします。

4 プロジェクターの傾きの調整



- 傾き角度を上げる場合は、左右のチルトフットを反時計回りに回します。
- [キーストーン] ボタンを押して、スクリーンの傾きを調整します。
キーストーンコントロールがディスプレイに表示されます。
垂直台形補正を行う場合は、▼ / ▲ を押します。
水平台形補正を行う場合は、▶ / ◀ を押します。



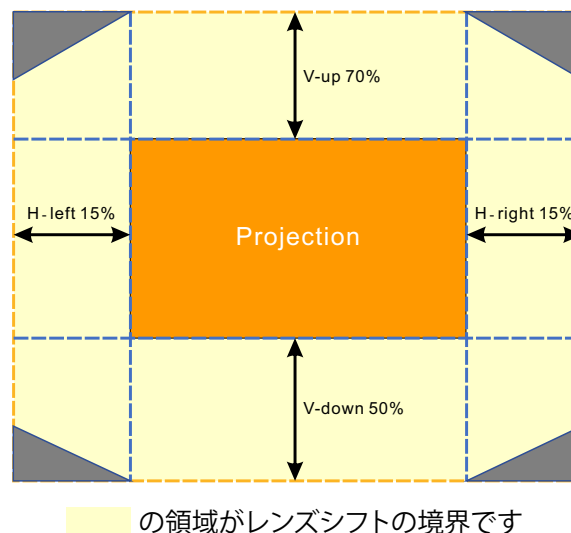
注意： プロジェクターを設定するとき

1. プロジェクターを置くテーブルまたはスタンドが水平で安定していることを確認します。
2. プロジェクターは、スクリーンに対して垂直になるように置きます。
3. ケーブルが安全な場所に配線されていることを確認します。ケーブルはつまづかないように配線します。

レンズシフトを使って投映画像の位置を調整する

プロジェクターには電動レンズシフト機能が付いています。プロジェクターを動かさずに、画像を垂直または水平に移動できます。レンズシフト範囲は画像の高さと幅のパーセンテージで表示され、最大垂直シフト範囲は画像高さの最大 70%、最小画像高さの 50% です。最大水平シフト範囲は左右への画像幅の 15% です。以下の図を参照してください。

レンズシフト範囲図



注記:

このプロジェクターには、レンズ取り付け穴の内側に安全スイッチが装備されています。電源を入れる前にプロジェクターに投映レンズを取り付ける必要があります。そうしないと投映を開始できません。

OSD メニューには、調整終了後の誤操作を避けるためにレンズコントロール調整を無効化するレンズロック機能があります。レンズコントロールを行う前に必ずロックを無効化してください。

3. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー設定

OSD メニュー制御

オンスクリーンディスプレイ (OSD) により、画像の調整、様々な設定の変更、プロジェクターの現在の状態の確認を行うことができます。

OSD をナビゲートする

リモコンまたはプロジェクターの [コントロール] ボタンを使って、OSD をナビゲートしたり変更したりすることができます。



- OSD を開くには、[メニュー] ボタンを押します。
- 6 つのトップメニューアイコンがあります。◀/▶ ボタンを押して、メニューを選択します。
- ▼/▲ ボタンを押して、サブメニューをスクロールします。
- ◀/▶ ボタンを押して、サブメニューの設定を変更します。
- ⬅ を押して、[詳細] サブメニューの設定を開きます。
- [メニュー] ボタンを押して、OSD を閉じたり、サブメニューを終了したりします。
- [終了] ボタンを押して、前のメニューに戻ります。

注記:

ビデオソースによっては、OSD 内のすべての項目を使用できないことがあります。例えば、[コンピューター] メニューの [水平位置/垂直位置] 項目を変更できるのは、PC に接続されている場合だけです。使用できない項目は灰色で表示され、アクセスできません。

入力メニュー

オートソース	オン、オフ
HDMI	HDMI フォーマット: オート、RGB 制限付き、RGB フル、YUV 制限付き、YUV フル
	HDR: オート、オフ、HDR 10
	HDMI EDID: HDMI1, HDMI2
アナログ	水平位置: -5~5
	垂直位置: -5~5
	フェーズ: 0~31
	フェーズ: 0~31
	自動同期: オン、オフ
3D	3D: DLP-Link、IR
	3D 同期反転: オフ、オン
	3D 形式: オート、上部、下部、フレームシーケンシャル、フレームパッキング、横並び、オフ
	3D 同期出力遅延: 0 ~ 359
	3D 同期出力: 内部、外部
信号電源オン	コンピューター: オフ、オン
	HDMI: オフ、オン
テストパターン	グリッド、白、赤、緑、青、黒、RGB ランプ、カラーバー、ステップバー、チェックボード、水平レンズ、垂直レンズ、斜線、水平傾斜、垂直傾斜、オフ



オートソース

- ◀▶ を使用してオン/オフを設定します。
- **オン**: プロジェクターに入力信号を自動的に検索させます。
- **オフ**: 入力信号を手動で選択します。

HDMI

-  を押し、 を使用して、サブメニューをスクロールします
- **HDMI フォーマット:** HDMI フォーマットを設定します。
オート: HDMI 情報フレームに従い、色空間を自動的に検出します。
RGB 制限付き: RGB 制限付き範囲色空間を強制的に選択します。
RGB フル: RGB フル範囲色空間を強制的に選択します。
YUV 制限付き: YUV 制限付き範囲色空間を強制的に選択します。
YUV フル: YUV フル範囲色空間を強制的に選択します
- **HDR:**  を使用して、オート、オフ、HDR 10 を設定します。
オート: HDR 同期を検出すると、自動的に HDR 設定に切り替わります。
オフ: HDR 同期を検出するかどうかに関係なく、HDR 設定を強制的に閉じます。
HDR 10: HDR 同期を検出するかどうかに関係なく、HDR 設定を強制的に選択します。
- **HDMI EDID:**  を押し、 を使用して HDMI1、HDMI2 を設定します。
拡張: HDMI 2.0 EDID を使用する場合に選択します。
標準: HDMI 1.4b EDID を使用する場合に選択します。

アナログ

-  を押し、 を使用して、サブメニューをスクロールします
- **水平位置:**  を使用して、水平方向の表示位置を調整します。
- **垂直位置:**  を使用して、垂直方向の表示位置を調整します。
- **フェーズ:**  を使用して周波数を調整し、アナログ RGB 画像の歪みを軽減します。
- **クロック:**  を使用して、アナログ RGB 画像の水平幅を調整します。
- **自動同期:**  を使用してオン/オフを選択し、画像同期をロックします。

3D

-  を押し、 を使用して、3D ソース、同期方法、3D フォーマットを設定します。
- 3D 設定を実行する前に、3D 同期に対応する入力信号が接続されていることを確認します。
- **3D:**  を使用して、3D 機能を有効または無効にします。
DLP-Link: 内部 3D 同期を有効にします。
IR: 外部 3D 同期を有効にします。
- **3D 同期反転:**  を使用して 3D 信号の L/R または R/L を切り替えます。
オン: 反転信号を有効にします。
オフ: 受信した信号同期に従います。
- **3D 形式:**  を押し、 を使用して 3D 形式のタイプ
(オート、上部、下部、フレームシーケンシャル、フレームパッキング、横並び、オフ) を選択します。
- **3D 同期入力遅延:**  を使用して、入力 3D 同期の遅延を調整します。
- **3D 同期出力遅延:**  を使用して、出力 3D 同期の遅延を調整します。
- **3D 同期出力:**  を使用して、3D 形式のタイプを選択します。
内部: 3D 同期は内部同期ジェネレーターから行われます。
外部: 3D 同期は外部入力コネクタから行われます。

**重要:**

次の条件が当てはまる方は、3D 画像の視聴を慎重に行う必要があります:

6 歳未満のお子様

光に過敏な方、光に対するアレルギーのある方、健康状態の問題のある方、循環器系疾病の履歴のある方。

疲れている方、睡眠不足の方

薬またはアルコールの影響下にある方

通常、3D 画像の視聴は安全です。しかし、不快に感じる方もいらっしゃいます。2008 年 12 月 10 日に 3D League により改訂・発行されたガイドラインを参照してください。このガイドラインには、3D 画像を視聴する方は、30 分または 1 時間ごとに少なくとも 5 ～ 15 分の休憩をとる必要がある旨が記載されています。

信号電源オン

-  を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
- **コンピューター:** ◀/▶ を使用してオン/オフを設定し、VGA 入力による自動電源オンを有効または無効にします。
- **HDMI:** ◀/▶ を使用してオン/オフを設定し、HDMI 入力による自動電源オンを有効または無効にします。

テストパターン

- ◀/▶ を使用して、グリッド、白、赤、緑、青、黒、RGB ランプ、カラーバー、ステップバー、チェックボード、水平線、垂直線、斜線、水平ラ傾斜、垂直傾斜、オフを選択して、テストパターン画像を有効にします。

ピクチャーメニュー

ピクチャーモード	表示、明るい、ゲーム、映画、鮮明、ブレンド、sRGB、DICOM SIM、ユーザー、(3D)、(HDR 10)
輝度	0~100
コントラスト	0~100
カラーマネージャ	色: R、G、B、C、M、Y、W 色相: -99 ~ 99 赤: 0 ~ 399 (W のみ) 彩度: 0 ~ 199 緑: 0 ~ 399 (W のみ) ゲイン: 5 ~ 195 青: 0 ~ 399 (W のみ)
詳細	ブリリアントカラー: 0~10 シャープネス: 0~31 ガンマ: 1.8、2.0、2.2、2.4、 黒白、線形、DICOM SIM HDR PQ: PQ-L300、 PQ-L400、PQ-L500、 PQ-L600、PQ-L700 (HDR のみ) 色温度: 暖かい、ノーマル、 冷たい 入力バランス: R ゲイン、G ゲイン、 B ゲイン、R オフセット、G オフセット、 B オフセット
ピクチャーモード リセット	現在: (OK、キャンセル) すべて: (OK、キャンセル)



ピクチャー

- ◀/▶ を使用して、個人の好みによりモードを選択します。
- **表示:** 使用をお勧めします。プレゼンテーション用の最高の投映効果です。
- **明るい:** このモードは、最高の輝度出力を必要とするアプリケーション環境に適しています。
- **ゲーム:** ビデオゲームに使用します。
- **映画:** 彩度、コントラスト、輝度の最良のバランスを提供します。
暗い環境での使用をお勧めします。
- **鮮明:** 鮮やかな色彩を提供します。
- **ブレンド:** このモードは没入型環境に適しています。
- **sRGB:** 限定された輝度設定を使って、RGB カラーを現実世界の画像に近づくように最適化します。
- **DICOM SIM:** DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine) の場合に使用します
- **ユーザ:** 輝度、コントラスト、色の好みをパーソナライズします。
- **3D:** 3D 同期を検出すると自動的に切り替わります。
- **HDR 10:** HDR 同期を検出すると自動的に切り替わります。

輝度

- ◀/▶ を使用して、画像の輝度レベルを増減します。

コントラスト

- ◀/▶ を使用して画像のコントラストレベルを調整します。

カラーマネージャ

- ⏪ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
- **色:** 色 (赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄、白) を選択して調整します。
- **色相:** ◀/▶ を使用して、色相の値を調整します。
- **彩度:** ◀/▶ を使用して、彩度の値を調整します。
- **ゲイン:** ◀/▶ を使用して、ゲインの値を調整します。
- **赤:** ◀/▶ を使用して白色の赤色の値を調整します。
- **緑:** ◀/▶ を使用して白色の緑色の値を調整します。
- **青:** ◀/▶ を使用して白色の青色の値を調整します。
- これら 3 つのオプションは、画像全体の色入力範囲を調整するために使用されます。灰色領域に表示される赤、緑、青の量が最小量である場合は、対応する色のゲインを下げてください。ゲインを上げると、画像のコントラストが下がります

詳細

- **←** を押し、**▼/▲** を使用して、サブメニューをスクロールします
- **ブリリアントカラー:** **◀/▶** を使用して、画像のブリリアントカラーを調整します
- **シャープネス:** **◀/▶** を使用して、画像のシャープネスを調整します
- **ガンマ:** **◀/▶** を使用して、画像の様々なクロミナンスを選択します。
周囲光が明るすぎ、暗い領域の投映画像に影響を及ぼす可能性がある場合、ガンマを変更して、クロミナンスを調整できます。利用可能なオプションは、1.8、2.0、2.2、2.4、黒白、線形、DICOM SIM です。
- **HDR PQ:** **◀/▶** を使用して PQ 設定 (PQ-L300、PQ-L400、PQ-L500、PQ-L600、PQ-L700) を選択します。
- **色温度:** **◀/▶** を使用して色温度を選択します。
暖かい: 画像を赤みがかった白にします。
ノーマル: 標準の白にします。
冷色: 画像を青みがかった白にします。
- **入力バランス:** **←** を押し、**▼/▲** を使用してサブメニューをスクロールします。
◀/▶ を使用して、ホワイトバランスの赤色、緑色、青色のゲインおよびオフセット値を調整します。
ゲイン: 赤、緑、青の輝度レベルを調整します。
偏り: 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。

ピクチャーモードリセット

- **←** を押し、**▼/▲** を使用して、サブメニューをスクロールします
- **現在:** **←** を押すと、現在のピクチャーモードがデフォルト設定にリセットされます。
- **すべて:** **←** を押すと、すべてのピクチャーモードがデフォルト設定にリセットされます。

注記:

「ピクチャーモードリセット」は、入力信号に応じてのみリセットされます。

整列めにゅー

アスペクト比	塗りつぶし、4:3、16:9、レターボックス、2.35:1、16:10、オート
ズーム	ズームイン: 0~10 (1.0x~2.0x) ズームアウト: -40~0 (0.8x~1.0x) 画像シフト: 水平画像シフト、垂直画像シフト
台形補正	垂直台形補正: -30~0~30 水平台形補正: -30~0~30
4 コーナー	コーナー: 左上、右上、左下、右下 水平: 0~60 垂直: 0~60
マスキング	上部: 0~100 下部: 0~100 左: 0~100 右: 0~100
投映	前面、背面、前面/シーリング、背面/シーリング
画面設定	画面形式: 16:10, 16:9, 4:3, 2.35:1 画面位置: グレーアウト、-60 ~ 0 ~ 60 (16:9 の場合)、-160 ~ 0 ~ 160 (4:3 の場合)、-191 ~ 0 ~ 191 (2.35:1 の場合)
レンズ設定	レンズロック: オフ、オン レンズタイプ: 非UST レンズ、UST レンズ レンズコントロール: ズーム & フォーカス、レンズシフト レンズメモリ: メモリの保存、読み込み: 1~10 レンズの中央揃え (実行)
アライメントのリセット	(OK、キャンセル)



アスペクト比

- ◀/▶ を使用して、画像の縦横比 (塗りつぶし、4:3、16:9 または 16:10、レターボックス、2.35:1、オート) を選択します。

ズーム

- ◀ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
- **ズームイン:** ◀/▶ を使用して、画像のコンテンツを 0 ~ 10 の値で大きく見せます。
- **ズームアウト:** ◀/▶ を使用して、画像を 0 ~ -40 の値で小さく見せます。ズームアウトを調整すると、HV 画像シフトがデフォルト値にリセットされます。
- **画像シフト:** ◀ を押し、▼/▲ を使用してサブメニューをスクロールします。
水平画像シフト: ◀/▶ を使用して画像を水平方向 (左/右) にシフトします。
垂直画像シフト: ◀/▶ を使用して画像を垂直方向 (上/下) に移動します。
ズームアウトに依存し、固定されていません

台形補正

- ◀ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
- **垂直台形補正:** ◀/▶ を使用して、値を調整して、画像の垂直方向の歪を調整します。調整可能な値は ±30 です
- **水平台形補正:** ◀/▶ を使用して、画像の水平方向の歪を調整します。調整可能な値は ±30 です

4 コーナー

この機能は、設置または投射面によりコーナーに発生する画像の歪を補正するために使用されます。

- ◀ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
- **コーナー:** ◀/▶ を使用して、コーナー (左上、右上、左下、右下) を選択します。
- **水平:** ◀/▶ を使用して、水平方向の値を増減します。
- **垂直:** ◀/▶ を使用して、垂直方向の値を増減します。

マスキング

- ◀ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
- 上部: ◀/▶ を使用して、画面上のマスキング機能を上側、下側、左側、右側の値から調整します。

投映

- ◀/▶ を使用して、投映位置を選択します
- **前面:** プロジェクターをデスクトップ上に設置し、画像を前方に投映します。
- **背面:** プロジェクターをデスクトップ上に設置し、スクリーンの背面から画像を投映します。
- **天井正面:** プロジェクターを天井に設置し、画像を前方に投映します。
- **天井背面:** プロジェクターを天井に設置し、スクリーンの背面から画像を投映します。

画面設定

- ◀ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
- **画面形式:** ◀/▶ を使用して、画面形式を 16:10、16:9、4:3、2.35:1 から選択します。
- **画面位置:** ◀/▶ を使用して画面の位置を調整します。

レンズ設定

-  を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
- **レンズロック:** ◀/▶ を使用して、レンズロックをオンまたはオフに調整します。
- **レンズタイプ:** ◀/▶ を使用して、レンズ タイプを非 UST レンズ、UST レンズに調整します。
- **レンズコントロール:** ◀▶ を使用してレンズのフォーカスを調整します。▼▲ を使用してレンズのズームを調整します。Enter を押してレンズシフトメニューを切り替えます。▼▲◀▶ を押してレンズシフトを調整します。Enter を押してレンズコントロールメニューを切り替えます。
- **レンズメモリ:**  を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
メモリの保存:  を押して設定を保存するメモリセットを選択し、ENTER ボタンを押して確定します。
メモリの読み込み:  を押して希望のメモリ設定を選択し、ENTER ボタンを押してレンズ設定を実行します。プロジェクターはレンズの位置、ズーム、フォーカスを自動的に調整します。
- **レンズの中央揃え:**  を押して、レンズシフトの中央校正を実行します。

アライメントのリセット

-  を押すと、すべてのアラインメントがデフォルト設定にリセットされます。

制御メニュー

ダイレクトパワーオン	オフ、オン
光源	ライトモード: ノーマル、エコ、カスタムライト
	カスタムライト: 25~100
	一定輝度: オフ、オン
	ViviBlack: ダイナミックブラック、ライトオフタイマー
高高度	ノーマル、高速
IR (赤外線) 制御	前面/背面 IR (赤外線) オン、前面 IR (赤外線) オン、背面 IR (赤外線) オン、前面/背面 IR (赤外線) オフ
リモートコントロール ID	デフォルト ~ 99
HDBaseT	HDBaseT-IR_RS232_RJ45: オフ、オン
	HDBaseT EDID: 拡張、標準
ネットワーク	ネットワーク状態: 接続、切断
	DHCP: オフ、オン
	IP アドレス: 0 ~ 255、0 ~ 255、0 ~ 255、0 ~ 255
	サブネットマスク: 0 ~ 255、0 ~ 255、0 ~ 255、0 ~ 255
	ゲートウェイ: 0 ~ 255、0 ~ 255、0 ~ 255、0 ~ 255
	DNS: 0 ~ 255、0 ~ 255、0 ~ 255、0 ~ 255
	適用: OK、キャンセル



Art-Net セットアップ	Art-Net 有効化オフ、オン (2.X.X.X)、オン (10.X.X.X)、On (手動) ネット: 0~127 サブネット: 0~15 ユニバース0~15 ユニバース0~15 適用: (OK、キャンセル) Art-Net チャンネル設定: チャンネル 1、チャンネル 2、 チャンネル 3、チャンネル 4、 チャンネル 5	
レンタルモード	出力制限レベル: 60~100 出力制限レベルのリセット 使用時間制限: 無効、有効 使用時間制限 (HRS): 1~9999 有効期限のリセット パスワードの変更: 新しいパスワード、パスワードの確認	

ダイレクトパワーオン

- ◀/▶ を使用してオン/オフを切り替えます。
この機能はデフォルトでオフに設定されています。[オン] に設定すると、次回 AC 電源をオンにすると、プロジェクターは自動的にオンになります。この機能と電源スイッチを使用して (リモコンの代わりに)、プロジェクターをオンにできます。

光源

- ◀ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
- **ライトモード:** ◀/▶ を使用して (ノーマル、エコ、カスタムライト) を選択します。
- **カスタムライト:** ◀/▶ を使用して、輝度レベルを 25% ~ 100% の間で調整します。
- **一定輝度:** ◀/▶ を使用してオン/オフを切り替えます。
- **ViviBlack:** ◀ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
ダイナミックブラック: ◀/▶ を使用してオン/オフを切り替えます。
ライトオフタイマー: ◀/▶ を使用してライトオフタイマーを選択します (無効、1秒/2 秒、3 秒、4 秒)。

高高度

- ◀/▶ を使用して、冷却ファンの速度 (標準、高) を調整します

IR (赤外線) 制御

- ◀/▶ を使用して、お好みの IR (赤外線) 制御位置 (前面/背面 IR (赤外線) オン、前面 IR (赤外線) オン、背面 IR (赤外線) オン、前面/背面 IR (赤外線) オフ) を選択します。
この機能により、どの IR リモコン受信機をオンにするかを選択できます。

リモートコントロール ID

現在のプロジェクター ID とリモコン ID 番号を表示します。プロジェクターとリモコンに独立した独自の ID を設定します。

HDBaseT

- **←** を押し、**▼/▲** を使用して、サブメニューをスクロールします
- **HDBaseT-IR_RS232_RJ45**: **◀/▶** を使用して HDBaseT-IR_RS232_RJ45 のオン/オフを切り替えます。IR、RS232、および RJ45 による HDBaseT の制御機能を有効にします。
- **HDBaseT EDID**: **◀/▶** を使用して HDBaseT モード (拡張、標準) を選択します。

注記:

HDBaseT 制御がオンに設定されている場合、低電力モードは「HDBaseT でオン」に設定され、この機能を無効にして選択します。

ネットワーク

この機能を使用して、ネットワーク設定を構成し、ネットワークを経由して、プロジェクターを制御できるようにします。

- **←** を押し、**▼/▲** を使用して、サブメニューをスクロールします
- **ネットワーク状態**: ネットワークを自動的に接続/切断します。
- **DHCP**: **◀/▶** を使用して DHCP をオン/オフに設定します。
[DHCP] が [オン] に設定されているとき、ドメインの DHCP サーバーが、プロジェクターに IP アドレスを割り当てます。入力を適用することなく、IP アドレスが IP アドレスウィンドウに表示されます。ドメインが IP アドレスを割り当てることができない場合、IP アドレスウィンドウに 0.0.0.0 が表示されます。
- **IP アドレス**: **←** を押して、IP アドレス入力ウィンドウを表示します。
◀/▶ を使用して、変更するアドレスの番号を選択します。
▼/▲ を使用して、IP アドレスの数値を増減します。
(例: ネットワーク IP アドレス 172. xxx. xxx. xxx。)
- **サブネットマスク**: サブネットマスクを設定します。入力方法は、IP アドレスの設定方法と同じです。
- **ゲートウェイ**: ゲートウェイを設定します。入力方法は、IP アドレスの設定方法と同じです。
- **DNS**: DNS を設定します。入力方法は、IP アドレスの設定方法と同じです。
- **適用**: **←** を押し、**▼/▲** を使用して、サブメニューをスクロールします

有線 LAN のターミナル機能

有線 LAN を介する PC (またはラップトップ) からのプロジェクターのリモート制御またはリモート監視も可能です。Crestron/AMX (デバイス検出)/Extron 制御ボックスとの互換性により、ネットワーク上で集団的なプロジェクター管理が可能になるだけでなく、PC (またはラップトップ) のブラウザ画面上の制御パネルからの管理が可能になります。

- Crestron は、米国 Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は、米国 Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は、米国 AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は、JBMI A により、日本、米国および他の国において、商標およびロゴ登録が申請されています。

サポートする外部デバイス

このプロジェクターは、Crestron Electronics 製コントローラおよび関連ソフトウェア (例 RoomView ®) の特定のコマンドをサポートします。

<http://www.crestron.com/>

このプロジェクターは、AMX (デバイス検出) をサポートします。

<http://www.amx.com/>

このプロジェクターは、参考のために Extron デバイスをサポートするために準拠しています。

<http://www.extron.com/>

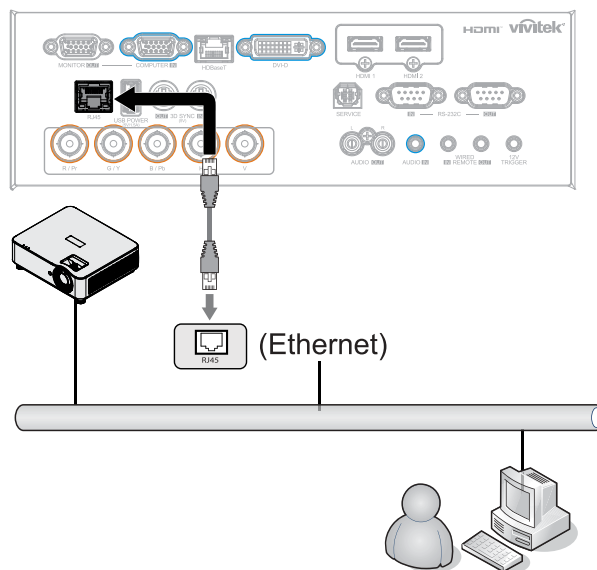
このプロジェクターは、PJLink Class1 (バージョン 1.00) のすべてのコマンドをサポートします。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/english/>

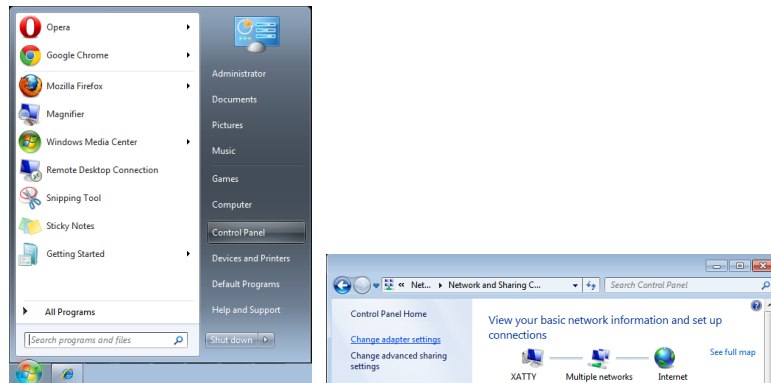
LAN/RJ45 ポートに接続する外部デバイスの範囲および外部デバイスの関連制御コマンドの詳細は、サポートサービスチームに直接お問合せください。

LAN に接続する

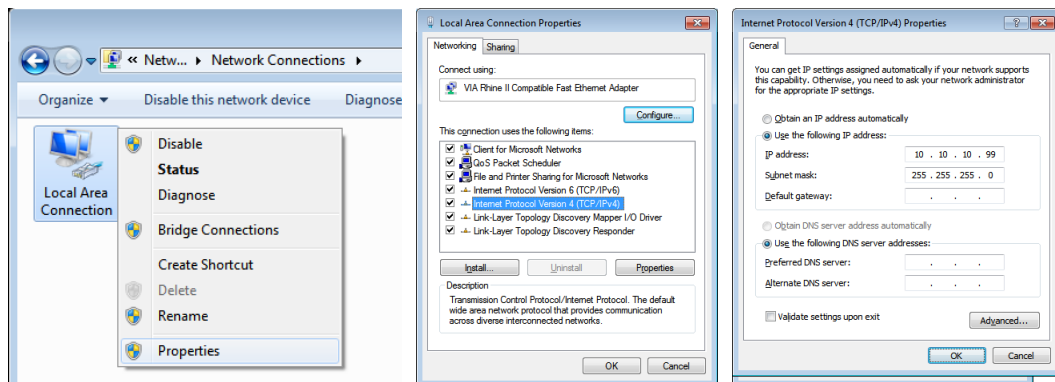
1. RJ45 ケーブルを、プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに接続します。



2. PC (ラップトップ) 上で、[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット] の順に選択します。



3. [ローカルエリア接続] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。
 4. プロパティウィンドウで、ネットワークタブを選択し、次に、インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択します。
 5. プロパティをクリックします。
 6. Use the following IP address (次の IP アドレスを使用する) をクリックし、IP アドレスとサブネットマスクのフィールドに入力して、次に、OK をクリックします。



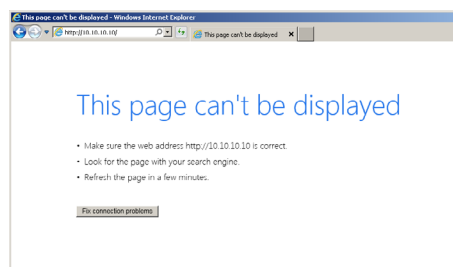
7. プロジェクターの Menu (メニュー) ボタンを押します。
 8. 制御 → ネットワークを選択します。
 9. ネットワークを開いたら、次を入力します：

- DHCP: オフ
- IP アドレス: 10.10.10.10
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- ゲートウェイ: 0.0.0.0
- DNS サーバー: 0.0.0.0

10. [Enter/▶] を押して、設定を確定します。

Web ブラウザー

(例えば、Adobe Flash Player 9.0 以上を使用する Microsoft Internet Explorer) を開きます。



11. アドレスバーに IP アドレスを入力します: 10.10.10.10.

12. [Enter/▶] を押します。

プロジェクターがリモート管理用にセットアップされます。次の図のように、LAN/RJ45 機能が表示されます。

Model Name	
System	
System Status	Power Off
Display Source	No Source
Lamp Hours	10
Display Mode	N/A
Projection Mode	N/A
Light Mode	N/A
Error Status	No Error
LAN Status	
IP address	10.10.10.10
Subnet mask	255.255.255.0
Default gateway	0.0.0.0
DNS Server	0.0.0.0
MAC address	00:18:23:00:00:00
Version	
LAN Version	
F/W Version	

Projector Name: 000000 Apply

Crestron Control

IP Address: 0 . 0 . 0 . 0

IP ID: 0

Control Port: 0 Apply

CAUTION: Incorrect settings will break the Crestron connection.

カテゴリ	項目	入力長
Crestron制御	IP アドレス	15
	IP ID	3
	ポート	5
プロジェクター	プロジェクター名	10

詳細情報については、<http://www.crestron.com> をご覧ください。

電子メールアラートを準備する

1. ユーザーが、Web ブラウザー (Microsoft Internet Explorer v6.01/v8.0 など) を使って LAN RJ45 機能にアクセスできることを確認します。
2. LAN/RJ45 のホームページで、[アラートメール設定] をクリックします。
3. デフォルトでは、[アラートメール設定] にある入力ボックスは空白です。

The left screenshot shows the Vivitek OSD menu with the 'Alert Mail Settings' option highlighted in the left sidebar. The right screenshot shows the 'Send E-Mail' configuration page with various input fields for SMTP settings and alert options.

4. アラートメールを送信する場合は、以下のように入力します:

- [SMTP] フィールドは、電子メール送信するメールサーバーです (SMTP プロトコル)。これは、必須フィールドです。
- [宛先] フィールドには、受信者の電子メールアドレスを入力します (プロジェクター管理者など)。これは、必須フィールドです。
- [Cc] フィールドに入力した電子メールアドレスには、アラートのカーボンコピーを送信します。これはオプションのフィールドです (プロジェクター管理者のアシスタントなど)。
- [差出人] フィールドには、送信者の電子メールアドレスを入力します (プロジェクター管理者など)。これは、必須フィールドです。
- 希望するボックスにチェックを入れて、アラート条件を選択します。

The screenshot shows the 'Send E-Mail' configuration page with example values filled in for the SMTP settings and alert options.

注記: 指示に従って、すべてのフィールドに入力します。[テストメールの送信] をクリックして、設定が正しいことをテストすることができます。電子メールアラートを成功裏に送信するには、アラート条件を選択し、正しい電子メールアドレスを入力する必要があります。

RS232 by Telnet 機能

プロジェクターは専用の RS232 コマンド制御による「ハイパー端末」通信で RS232 インターフェースに接続されているだけでなく、代替の RS232 コマンド制御方法があるため、LAN/RJ45 インターフェースの場合は「RS232 by TELNET」と呼ばれます。

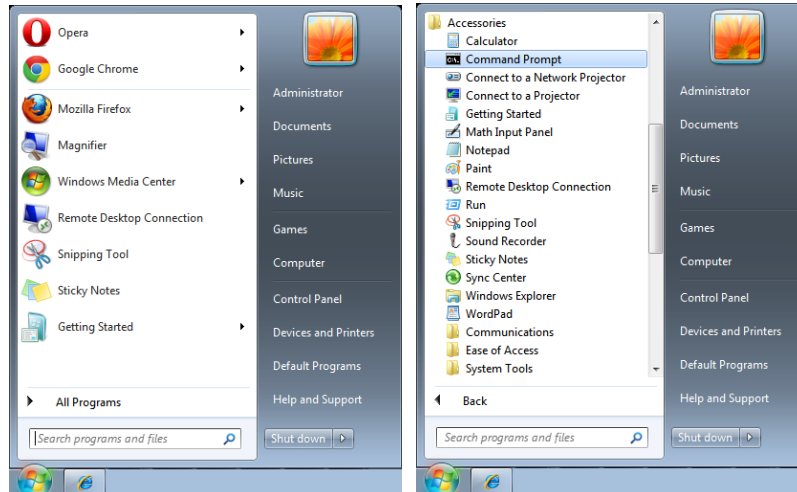
「RS232 by TELNET」用のクイックスタートガイド

プロジェクターの OSD で IP 位置をチェックし、取得します。

ラップトップ/PC がプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。

「Telnet」機能がラップトップ/PC によって除去されている場合、「Windows Firewall」設定が無効にされていることを確認します。

スタート ⇒ すべてのプログラム ⇒ アクセサリ ⇒ コマンドプロンプト



コマンドフォーマットを以下のように入力します:

telnet ttt.xxx.yyy.zzz 7000 ([Enter] キーを押す)

(ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)

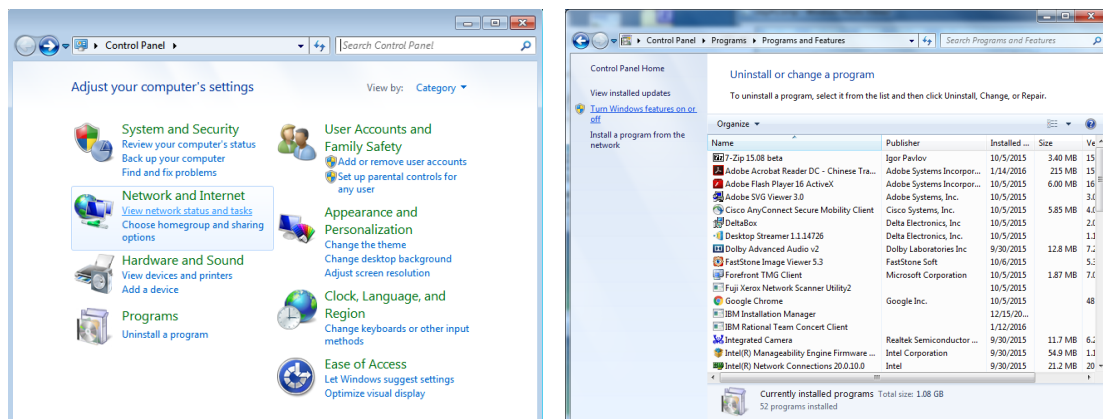
Telnet-Connection の準備ができて、ユーザーが RS232 コマンドを入力できるようになった場合、「エンター」キーを押すと、RS232 コマンドが実行可能になります。

Windows で TELNET を有効にする方法

Windows のデフォルトのインストールでは、「TELNET」機能は含まれていません。しかし、エンドユーザーは「Windows 機能のオンまたはオフを切り替える」によってその機能を有効にすることができます。

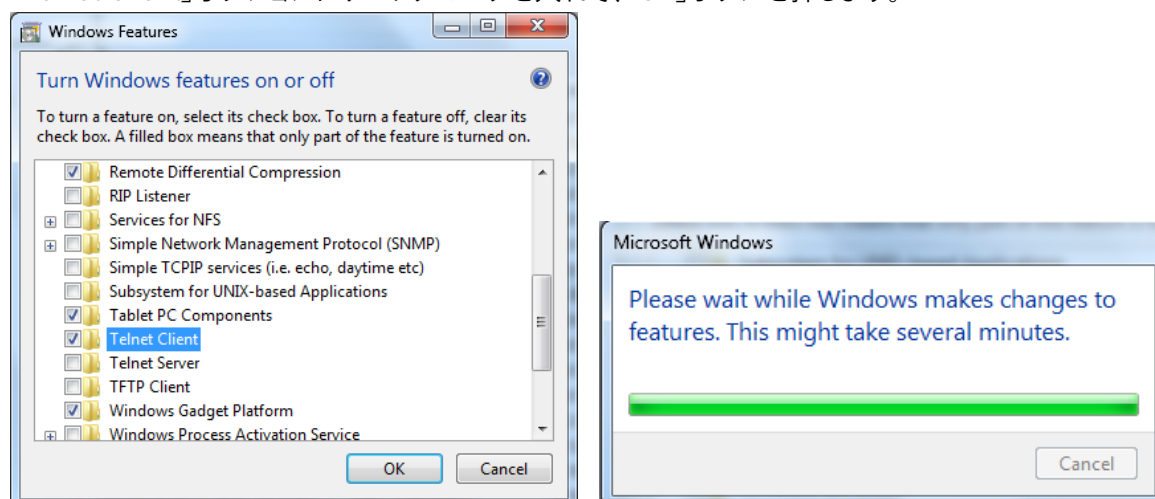
Windows で「コントロールパネル」を開きます

「プログラム」を開きます



「Windows 機能のオンまたはオフを切り替える」を選択して開きます

「Telnet Client」オプションにチェックマークを入れて、「OK」ボタンを押します。



「RS232 by TELNET」のスペックシート:

1. Telnet: TCP
2. Telnet ポート: 7000
(詳細については、サービス代理店またはサービスチームにお問い合わせください)
3. Telnet ユーティティ: Windows “TELNET.exe” (コンソールモード)
4. 通常の RS232 by TELNET コントロール用の接続: TELNET 接続準備ができれば Windows Telnet ユーティリティを直接閉じます
5. Telnet-Control の制限 1: Telnet-Control アプリケーションの場合、連続できるネットワークペイロードは 50 バイト未満です。
Telnet-Control の制限 2: Telnet-Control の場合、1 つの完全な RS232 コマンドは 26 バイト未満です
Telnet-Control の場合の制限 3: 次の RS232 コマンドの最小遅延は 200 (ms) 以上にする必要があります。
(* Windows 組み込み「TELNET.exe」ユーティリティでは、「エンター」キーを押すと「改行」と「復帰」コードが有効になります。)

Art-Net セットアップ

- **←** を押し、**▼/▲** を使用して、サブメニューをスクロールします
- **Art-Net 有効化:** **◀/▶** を使用して Art-Net を選択します。
オフ: Art-Net を無効にします。
オン (2.X.X.X) およびオン (10.X.X.X): IP は自動的に計算されます。
On (手動): IP アドレスを手動で設定します。
- **ネット:** **◀/▶** を使用してネットグループを選択します。
- **サブネット:** **◀/▶** を使用して各ネットのサブネットを選択します。
- **ユニバース:** **◀/▶** を使用して、各サブネットのユニバースを選択します。
- **開始アドレス:** **◀/▶** を使用してアドレスの開始点を選択します。
- **適用:** ArtNet の設定が完了したら、**◀/▶** を使用して [OK] または [キャンセル] を選択します。

- **Art-Net チャンネル設定:** ◀/▶ を使用して、Art-Net の各チャンネルの機能マッピングを設定します。チャンネル設定定義は、Art-Net でプロジェクターを制御するために使用されます。以下の表を参照してください。

チャンネル	チャンネル機能	性能	チャンネルパラメータ	デフォルト値	操作内容
1	Power (電源)	スタンバイ	0 ~ 63	128	プロジェクターのライトオン/オフ
		操作なし	64 ~ 191		
		電源オン	192 ~ 255		
2	PIC ミュート	シャッター開	0 ~ 63	128	AV ミュートの有効化 / 無効化
		操作なし	64 ~ 191		
		シャッター閉	192 ~ 255		
3	電力レベル	30%	0 ~ 115	255	プロジェクターの輝度レベルを調整する
		31%	116 ~ 117		
		...	...		
		99%	252 ~ 253		
		100%	254 ~ 255		
4	入力	操作なし	0 ~ 31	0	入力ソースの変更
		HDMI 1	32 ~ 47		
		HDMI 2	48 ~ 63		
		VGA	64 ~ 79		
		BNC (コンポネント)	80 ~ 95		
		DisplatyPort	96 ~ 111		
		操作なし	112 ~ 127		
		HDBaseT	128 ~ 143		
		3G-SD	144 ~ 159		
		DVI	160 ~ 175		
5	チャンネル制御 (*)	チャンネル制御が無効になっています	0 ~ 63	0	チャンネル操作の有効化/無効化
		操作なし	64 ~ 191		
		チャンネル制御が有効になっています	192 ~ 255		

(*): 「無効」に設定すると、他のすべてのチャンネルの操作は受け付けられません。

レンタルモード

- ◀ を押し、▼/▲ を使用してサブメニューをスクロールし、5桁のパスワードを入力します。
- **出力制限レベル:** ◀ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
出力制限レベル: 固定電力レベル出力 (60 ~ 100) を選択します。
出力制限レベルのリセット: 電力レベル出力をデフォルトにリセットします。
- **使用時間制限:** ◀ を押し、▼/▲ を使用して、サブメニューをスクロールします
使用時間制限: 使用時間制限を無効にする/有効にするを選択します。
使用時間の設定 (時): 使用時間を設定します。時間がなくなると警告ウィンドウが表示されます。
有効期限のリセット: 再起動して有効期限をカウントダウンします。
- **パスワードの変更:** ◀ を押してレンタルモードのパスワードを変更します。

注記:

レンタルモードを有効にしたい場合は、現地代理店に連絡して 5 桁のパスワードを取得してください。

設定メニュー

エコ	スタンバイ電源: ノーマル、エコ、LAN でオン、(HDBaseT でオン) 信号がありません 電源オフ (分): 0~30~180 スリープタイマー (分): 0~600
オーディオ	ボリューム: 0~5~10 内部スピーカー: オフ、オン ミュート: オフ、オン
エアフィルタ	エアフィルタ時間(読み取り専用) タイマーリマインダー: オフ、300 時間、500 時間、1000 時間、1500 時間、2000 時間。 タイマーのリセット: タイマーのリセット (実行)
ブランク画面の色	ロゴ、黒、赤、緑、青、白
メニュー	ロゴ: 標準、黒、青 メッセージ: オフ、オン メニュー位置: 中央、上、下、左、右 メニュータイマー: オフ、20 秒、40 秒、60 秒 メニュー透過: オフ、50%、100%
キーパッドロック	オフ、オン
セキュリティロック	オフ、オン
言語	English、Français、Deutsch、Español、Português、简体中文、繁體中文、Italiano、Norsk、Svenska、Nederlands、Русский、Polski、Suomi、Ελληνικά、한국어、Magyar、Čeština、Türkçe、日本語、Dansk
環境ステータス	実行
すべてリセット	OK、キャンセル



エコ

- **←** を押し、**▼/▲** を使用して、サブメニューをスクロールします
- **スタンバイ電源:** **◀/▶** を使用して、ノーマル/エコ/LAN でオン/HDBaseT でオン を切り替えます (HDBaseT-IR_RS232_RJ45 が「On」に設定されている場合のみ表示され、グレー表示されます)
- **信号がありません 電源オフ (分):** **◀/▶** を使用して、(信号なしの状態にカウントダウンを始め、プロジェクターを自動的にオフにする) 自動電源オフモードになるまでのタイムラプスを増減します。
- **スリープタイマー (分):** **◀/▶** を使用して、自動スリープモードになるまでのタイムラプスを増減します。

オーディオ

- **←** を押し、**▼/▲** を使用して、サブメニューをスクロールします
- **ボリューム:** **◀/▶** を使用して、プロジェクターの音量を増減します。
- **内部スピーカー:** **◀/▶** を使用して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオン/オフを切り替えます。
- **ミュート:** **◀/▶** を使用して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオン/オフを切り替えます。

エアフィルタ

- **←** を押し、**▼/▲** を使用してサブメニューをスクロールします。
- **エアフィルタ時間:** エアフィルタの累計使用時間を表示します。
- **タイマーリマインダー:** **◀/▶** を使用してエアフィルタタイマーのオン/オフを切り替えます。
- **タイマーのリセット:** **←** を押してエアフィルタタイマーをリセットします。

ブランク画面の色

- **◀/▶** を使用して、スクリーンの背景色 (ロゴ、黒、赤、緑、青、白) を設定します。

メニュー

- **←** を押し、**▼/▲** を使用して、サブメニューをスクロールします
- **ロゴ:** **◀/▶** を使用してロゴ (標準、黒、青) を選択します。
- **メッセージ:** **◀/▶** を使用してオン/オフを切り替えます。
- **メニュー位置:** **◀/▶** を使用して、メニュー位置 (中央、上、下、左、右) を設定します。
- **メニュータイマー:** **◀/▶** を使用して、メニューをポップオフする時間 (オフ/20 秒/40 秒/60 秒) を切り替えます。
- **メニュー透過:** **◀/▶** を使用して、メニュー透過をオフ/50 %/100 % で切り替えます。

キーパッドロック

- **◀/▶** を使用して、キーパッドロックのオン/オフを切り替えます。

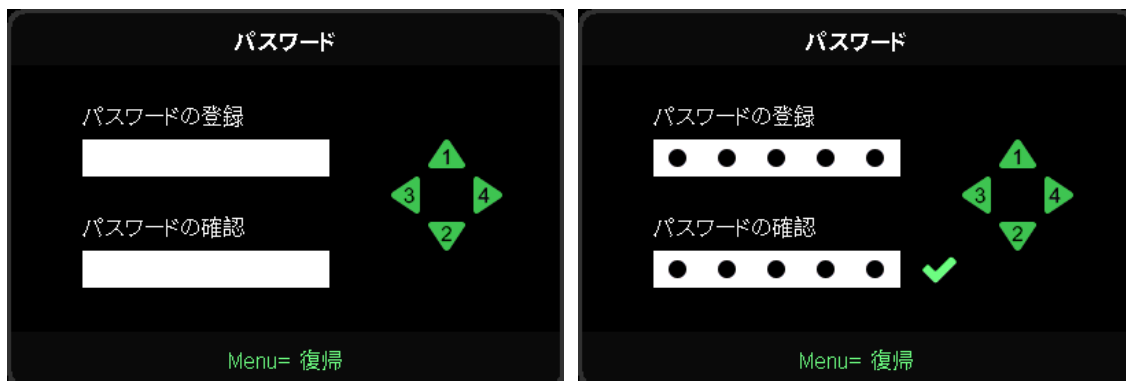
注記:

キーパッドをロック解除するには、**[▼]** を 5 秒間押して、「キーパッドロック解除」をポップアウトさせます。

セキュリティロック

- ◀/▶ を使用してセキュリティー・ロックのオン/オフを切り替えます。

パスワード



- セキュリティー・ロックがオンの場合、「パスワード入力」をポップアップ表示します。
- ▲/▼/◀/▶ を押してパスワードを設定します (合計 5 桁)。

注記:

起動時に毎回「パスワード確認」と表示されます。5 回以上間違えた場合は、ローカルサービスセンターに連絡してください。

言語

- 押して、▼/▲ を使用してサブメニューをスクロールします。
- ◀ を押して言語のサブメニューに入ります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンを押してスクロールし、言語を強調表示します。
- MENU ボタンを押して言語サブメニューを終了します

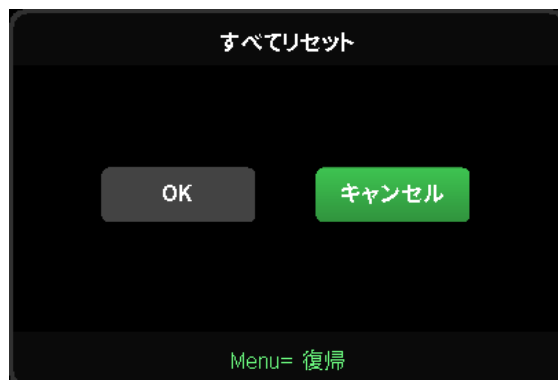
環境ステータス

- ◀ を押して、環境ステータスサブメニューを表示します。

環境ステータス					
T1	25	Fan1	1100	Fan11	1100
T2	25	Fan2	1100	Fan12	1100
T3	25	Fan3	1100	Fan13	1100
T4	25	Fan4	1100	Fan14	1100
T5	25	Fan5	1100	Fan15	1100
T6	25	Fan6	1100		
T7	25	Fan7	1100		
T8	25	Fan8	1100		
T9	25	Fan9	1100		
T10	25	Fan10	1100		
T State	1st				
Menu= 終了					

すべてリセット

-  を押してすべてリセットを選択すると、ポップアップ「すべてリセットの確認」が表示され、確認します。



注記:

ビデオソースによっては、OSD 内のすべての項目を使用できないことがあります。例えば、[コンピューター] メニューの [水平位置/垂直位置] 項目を変更できるのは、PC に接続されている場合だけです。使用できない項目は灰色で表示され、アクセスできません。

情報画面



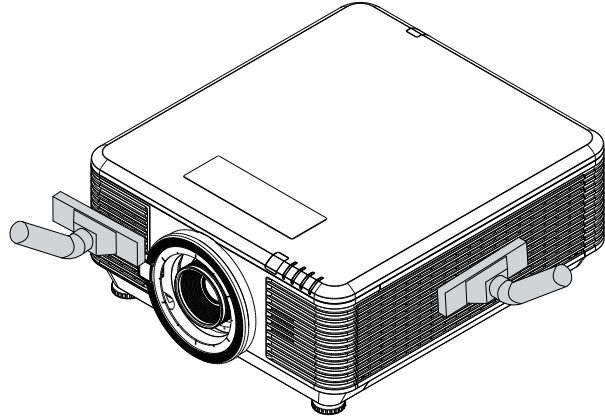
この画面には、技術サポートで使用するためのプロジェクターの現在のステータス情報が表示されます。

4. メンテナンス

エアフィルターの清掃

エアフィルターは、プロジェクター内部の光学素子表面に埃が蓄積することを防ぎます。フィルターが汚れや目詰りしたら、プロジェクターが過熱したり、投影画像の品質が劣化することがあります。

1. プロジェクターの電源を切り、コンセントからAC電源コードを抜きます。
2. 掃除機でフィルターを掃除します。

**注意：**

プロジェクターを動作するときには、埃や煙の多い環境を避けてください。画質の劣化につながる可能性があります。

フィルターがひどく詰まり、清掃できない場合には、新しいフィルターに交換します。

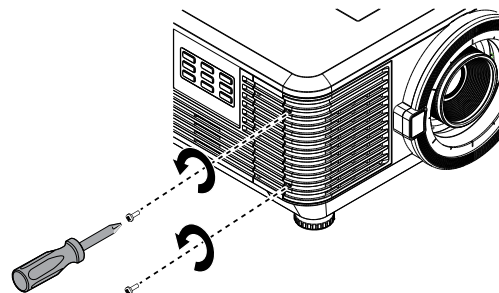
注記：

フィルターにアクセスするために、はしごの使用をお勧めします。壁取り付けからプロジェクターを取り外さないでください。

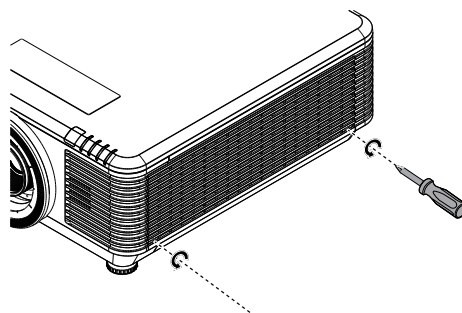
フィルターの交換

1. プロジェクターの電源を切り、コンセントからAC電源コードを抜きます。プロジェクターと通気口周辺の埃を清掃します。

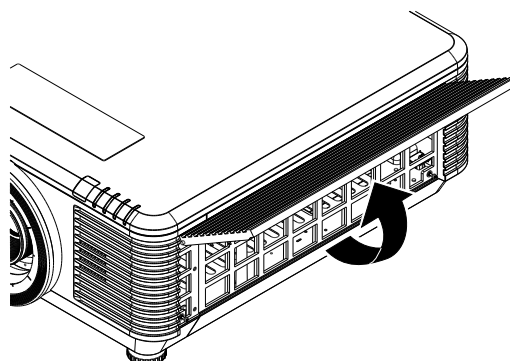
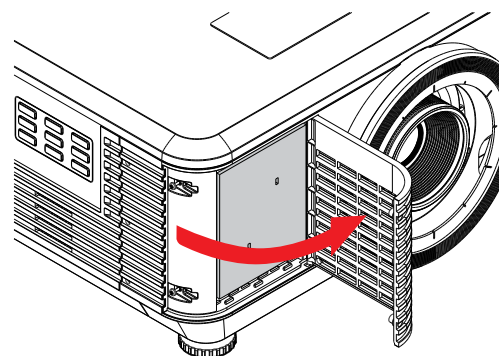
2. フィルターモジュールからネジを取り外します。



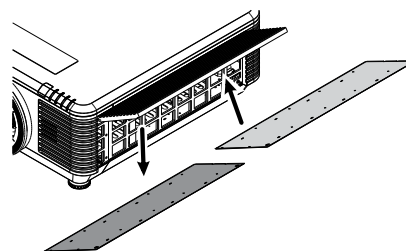
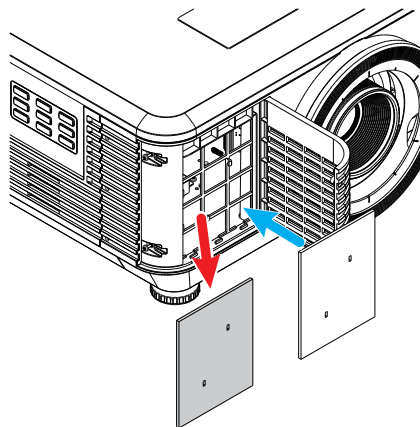
3. フィルターモジュールのネジを緩めます。



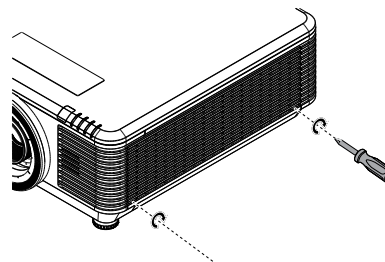
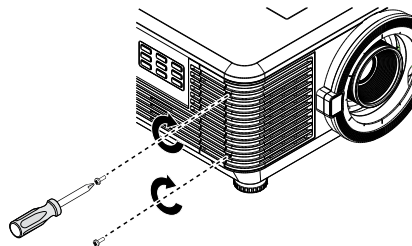
4. プロジェクタからフィルターモジュールを外します。



5. フィルターカバーからフィルターを持ち上げます。
新しいフィルターをカバーに取り付けます。



6. フィルターカバーをプロジェクタに取り付けます。



7. エアフィルターを交換した後は、プロジェクターの電源をオンにして、エアフィルタータイマーをリセットしてください。
エアフィルタータイマーリセット:
MENU を押して、「設定」 >> 「エアフィルター」を選択し、「タイマーのリセット」を選択します。(Enter) を押してエアフィルタータイマーをリセットします。



警告:

フィルターは水やその他液体で洗淨しないでください。



重要:

フィルターサービス時間がオンになると、フィルター LED が点灯します。
フィルターが破損している場合は、新しいフィルターを使用してください。

5. トラブルシューティング

一般的な問題と解決方法

このガイドラインでは、プロジェクターの使用中に発生する可能性のある問題の解決方法を説明します。

問題を解決できない場合は、販売代理店までご連絡ください。

問題解決のために時間を掛けた後で、問題が簡単な原因 (接続が緩んでいたなど) に起因することが分かる場合があります。

問題別の解決方法に進む前に、次の点をご確認ください。

- その他の電気機器を使って、電気コンセントに問題がないことを確認します。
- プロジェクターがオンになっていることを確認します。
- すべての接続がしっかり取り付けられていることを確認します。
- 取り付けた機器がオンになっていることを確認します。
- 接続した PC がサスペンドモードになっていないことを確認します。
- 接続されたノートパソコンが外部表示用に構成されていることを確認します。

(これは、ノートパソコンの Fn キーを組み合わせせて押して実行します。)

トラブルシューティングのヒント

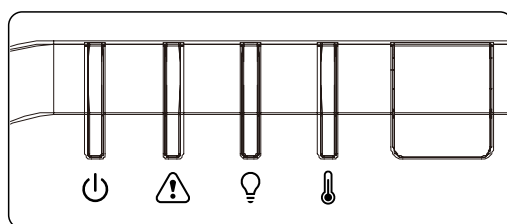
問題を迅速に解決するために、問題別のセクションで指定されている手順に従います。

問題を特定して、故障していない部品を不必要に交換しないようにします。

例えば、バッテリーを交換しても問題が解決されない場合は、元のバッテリーを取り付け直して、次の手順に進みます。

問題を解決するために取った手順を書き留めます。手順を書き留めておくと、技術サポートに電話して、サービス担当者に説明する際に役立つことがあります。

LED インジケータのメッセージ



LED コードメッセージ	電源 LED (緑)	ステータス LED (赤)	ライト LED (赤)	温度 LED (赤)
ライト準備完了	オン	オフ	オフ	オフ
スタート	点滅	オフ	オフ	オフ
冷却	点滅	オフ	オフ	オフ
1W MCU がスケーラーの動作停止を検出	2回点滅	オフ	オフ	オフ
T1 の過熱 / センサー T1 の接続喪失	オフ	オフ	1回点滅	オン
T2 の過熱 / センサー T2 の接続喪失	オフ	オフ	2回点滅	オン
過熱 T3 / センサー T3 の接続喪失	オフ	オフ	3回点滅	オン
過熱 T4 / センサー T4 の接続喪失	オフ	オフ	4回点滅	オン
過熱 T5 / センサー T5 の接続喪失	オフ	オフ	5回点滅	オン
過熱 T6 / センサー T6 の接続喪失	オフ	オフ	6回点滅	オン
過熱 T7 / センサー T7 の接続喪失	オフ	オフ	7回点滅	オン
過熱 T8 / センサー T8 の接続喪失	オフ	オフ	8回点滅	オン
温度ブレークセンサーエラー	オフ	4回点滅	オフ	オフ
レーザー光源エラー	オフ	4回点滅	1回点滅	オフ
FAN1 error (ファン 1 エラー)	オフ	6回点滅	1回点滅	オフ
FAN2 error (ファン 2 エラー)	オフ	6回点滅	2回点滅	オフ
FAN3 error (ファン 3 エラー)	オフ	6回点滅	3回点滅	オフ
FAN4 error (ファン 4 エラー)	オフ	6回点滅	4回点滅	オフ
FAN5 error (ファン 5 エラー)	オフ	6回点滅	5回点滅	オフ
FAN6 error (ファン 6 エラー)	オフ	6回点滅	6回点滅	オフ
FAN7 error (ファン 7 エラー)	オフ	6回点滅	7回点滅	オフ
FAN8 error (ファン 8 エラー)	オフ	6回点滅	8回点滅	オフ
FAN9 error (ファン 9 エラー)	オフ	6回点滅	9回点滅	オフ
FAN10 error (ファン 10 エラー)	オフ	6回点滅	10回点滅	オフ
ケースが開いています	オフ	7回点滅	オフ	オフ
Lens Open (レンズが開いています)	オフ	7回点滅	1回点滅	オフ
DMD エラー	オフ	8回点滅	オフ	オフ
カラーホイールエラー	オフ	9回点滅	オフ	オフ
Phosphor wheel error (蛍光体ホイールエラー)	オフ	9回点滅	1回点滅	オフ

注記:

エラーが発生した場合は、AC 電源コードの接続を外して、約 1 分待ってから、プロジェクターを再起動します。電源 LED または光源 LED が点滅し続けたり、あるいは、過熱 LED が点灯する場合は、サービスセンターまでご連絡ください。

イメージの問題の Q&A

Q. スクリーンに画像が表示されない

- ノートブックまたはデスクトップ PC 上の設定を確認します。
- 正しい順序で、すべての装置の電源をいったん切ってから、もう一度電源を入れ直します。

Q. 画像がぼやける

- プロジェクター上の [フォーカス] を調整します。
- プロジェクターからスクリーンまでの距離が、指定された範囲以内であることを確認します。
- プロジェクターレンズが汚れていないことを確認します。

Q. 画像が反転する

- OSD の [整列] メニューで [投映] 設定を確認します。

Q. 画像に線が入る

- OSD の [入力] -> [アナログ] メニューで、[位相] と [クロック] 設定をデフォルト設定に設定します。
- 接続した PC のビデオカードが問題の原因でないことを確認するために、他のコンピューターに接続します。

Q. 画像が平坦でコントラストがない

- OSD の [画像] メニューで [コントラスト] 設定を調整します。

Q. 投映画像の色がソース画像と一致しない

- OSD の [画像] -> [詳細] メニューで、[色温度] 設定と [ガンマ] 設定を調整します。

光源の問題

Q. プロジェクターから光が出ない

- 電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認します。
- 電源に他の電気機器を接続して、電源が正常であることを確認します。
- 正しい順序でプロジェクターを再起動して、電源 LED が点灯することを確認します。

リモコンの問題

Q. プロジェクターがリモコンに反応しない

- リモコンをプロジェクターのリモートセンサーに向けます。
- リモコンとセンサーの間に障害物がないことを確認します。
- 室内の蛍光灯を消します。
- バッテリーの極性を確認します。
- バッテリーを交換します。
- 周辺にあるその他の赤外線対応機器をオフにします。
- リモコンを修理してください。

音声の問題

Q. 音が出ない

- リモコンの音量を調整します。
- オーディオソースの音量を調整します。
- オーディオケーブルの接続を確認します。
- その他のスピーカーを使って、ソースオーディオの出力をテストします。
- プロジェクターを点検修理に出します。

Q. 音がひずむ

- オーディオケーブルの接続を確認します。
- その他のスピーカーを使って、ソースオーディオの出力をテストします。
- プロジェクターを点検修理に出します。

プロジェクターを点検修理に出す

ご自分で問題を解決できない場合は、プロジェクターを点検修理に出します。プロジェクターを元の段ボール箱に梱包します。問題の説明と、問題を解決するために試みたことを記載したチェックリストを同封してください。これらの情報は、サービス担当者の役に立つことがあります。点検修理のために、プロジェクターをご購入いただいた所へお戻しください。

HDMI の Q&A

質問 「標準」HDMI ケーブルと「高速」HDMI ケーブルの違いは何ですか？

HDMI Licensing, LLC は、ケーブルを「標準」ケーブルまたは「高速」ケーブルに分類することを発表しました。

「標準」(または「カテゴリ 1」)HDMI ケーブルは、75Mhz の速度、または、2.25Gbps の最大速度 (これは、720p/1080i 信号に相当します) で伝送することを試験して確認します。

「高速」(または「カテゴリ 2」)HDMI ケーブルは、340Mhz の速度、または、10.2Gbps の最大速度で伝送することを試験して確認します。これは、HDMI ケーブル経由で利用できる最高帯域幅であり、1080p 信号を処理できるので、ソースの色深度やリフレッシュレートが大きい場合でも対応します。高速ケーブルは、WQXGA 対応の映画館用モニター (解像度 2560 x 1600) など、高解像度ディスプレイにも対応します。

質問 10 メートルを超える HDMI ケーブルを使用するにはどうすればよいですか？

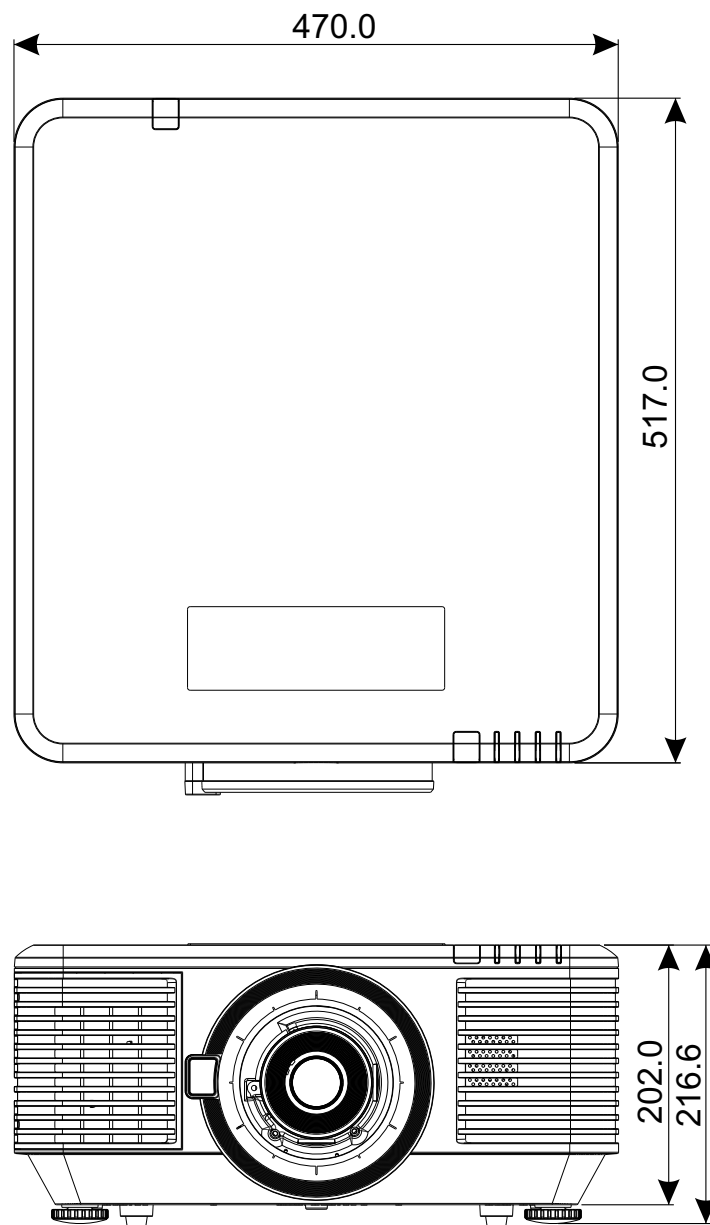
HDMI ソリューション用の各種 HDMI アダプタがあります。これらのアダプタを使って、ケーブルの有効距離を 10 メートルの標準距離から延長できます。アクティブケーブル (アクティブエレクトロニクスがケーブルに内蔵されており、ケーブルの信号を強化して拡張します)、リピーター、アンプ、CAT5/6、ファイバーソリューションなど、さまざまなソリューションがあります。

質問 HDMI 規格認証済ケーブルかどうかはどうやって確認できますか？

HDMI 製品はすべて、HDMI CTS (Compliance Test Specification) の一環として、製造元による認証が義務付けられています。しかしながら、HDMI ロゴのあるケーブルでも、正しい試験を受けていないことがあります。HDMI Licensing, LLC では、HDMI 商標が市場で正しく使用されるように、このようなケーブルについて積極的に調査しています。消費者の皆様には、評判の良い販売店で信頼できる企業が製造したケーブルをお買い求めになることを推奨します。

6. 仕様

プロジェクターの寸法



プロジェクターのデータシート

モデル名	DU7099Z+	DU7199Z+	DU7299Z+
ディスプレイタイプ	0.67 WUXGA、1 DLP		
輝度	7600 ルーメン	8600 ルーメン	9600 ルーメン
ネイティブ解像度	WUXGA (1920 x 1200)		
最大解像度	4K (3840×2160) @60Hz		
コントラスト比	1,300:1 (ネイティブ) / 20,000:1 (ダイナミック) / 3,000,000:1 (フルオン/オフ)		
レーザーの寿命/タイプ	最大 20,000 時間 (レーザー蛍光体)		
スローレシオ (*)	1.54 - 1.93		
画像サイズ (対角) (*)	48.2 インチ - 300 インチ		
投射距離 (*)	2m - 10m (6.56 フィート - 32.8 フィート)		
投射レンズ (*)	F# 2.02 ~ 2.4、f = 22.84 ~ 28.61 mm		
ズーム比 (*)	1.25X 手動ズーム、手動フォーカス		
縦横比	16:10		
キーストーン補正	垂直方向/水平方向 ±30°		
水平周波数	15 または 31 - 91.4kHz		
垂直周波数	24 - 30Hz、47 - 120Hz		
3D 互換性	はい (DLP® Link™、HDMI v2.0 Blu-ray、横並び、フレーム パッキング、トップアンドボトム)		
スピーカー	ピーク 10W *2		
レンズシフト範囲(*)	垂直: 下 45% から上 50%、水平: 左 12% から右 12%		
コンピューターの互換性	VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+、UXGA、WUXGA、4K@60Hz、Mac		
I/O接続ポート	HDMI v2 (x2) (HDCP v2.2 準拠)、DVI-D、コンポーネント (5 BNC) (RGBHV)、3D 同期入力、VGA 入力、オーディオ入力 (ミニジャック)、モニター出力、オーディオ出力 RCA (L/R)、3D 同期出力、USB タイプ A 電源 (5V/1.5A)、12V トリガー、RS-232 入力、RS-232 出力、有線リモート入力、有線リモート出力、HDBaseT™ (100Mbps)、RJ45 (LAN) (10/100Mbps)、USB (サービス)		
投射方法	机上、天吊り、ポートレート (前面または背面)		
セキュリティソリューション	Kensington® セキュリティスロット、セキュリティバー、キーパッドロック		
寸法(幅x奥行きx高さ)	470 x 517 x 202mm (18.5 x 20.35 x 7.95 インチ)(調整フットなし)		
重量	20.6 Kg (45.5 ポンド)		23.5 Kg (63.0 ポンド)
利用可能な色	黒または白		
ノイズレベル	34dB/32dB (ノーマル/エコモード)	37dB/34dB (ノーマル/エコモード)	40dB/38dB (ノーマル/エコモード)
電源	AC 100-240V、50/60Hz		
消費電力	465 W (ノーマル)	540 W (ノーマル)	575 W (ノーマル)
	< 0.5W (スタンバイ), < 2W (LAN でオン)		
環境温度条件	温度 0 ~ 40 °C、相対湿度 10% ~ 85%、結露なきこと		
環境保管条件	温度 -10 ~ 60 °C、相対湿度 5% ~ 95%、結露なきこと		

注記:

"*": 標準レンズ

プロジェクターのタイムテーブル

信号	解像度	水平同期 (KHz)	垂直同期 (Hz)	コンポジット S ビデオ	コンポー ネント	VGA/BNC (アナログ)	DVI	HDMI	HDBaseT
							(デジタル)		
NTSC	－	15.734	60	○(3D:S)	－	－	－		
PAL/ SECAM	－	15.625	50	○	－	－	－		
VESA	720 x 400	31.5	70.1	－	－	○	○		
	640 x 480	31.5	60	－	－	○(3D:FS、TB、SBS)	○(3D:FS、TB、SBS)		
	640 x 480	35	66.667	－	－	MAC13	MAC13		
	640 x 480	37.86	72.8	－	－	－	○		
	640 x 480	37.5	75	－	－	○	○		
	640 x 480	43.3	85	－	－	○	○		
	640 x 480	61.9	119.5	－	－	○	○		
	800 x 600	37.9	60.3	－	－	○(3D:FS、TB、SBS)	○(3D:FS、TB、SBS)		
	800 x 600	46.9	75	－	－	○	○		
	800 x 600	48.1	72.2	－	－	○	○		
	800 x 600	53.7	85.1	－	－	○	○		
	800 x 600	76.3	120	－	－	○(3D:FS)	○(3D:FS)		
	832 x 624	49.722	74.546	－	－	MAC16	MAC16		
	1024 x 768	48.4	60	－	－	○(3D:FS、TB、SBS)	○(3D:FS、TB、SBS)		
	1024 x 768	56.5	70.1	－	－	○	○		
	1024 x 768	60.241	75.02	－	－	MAC19	MAC19		
	1024 x 768	60	75	－	－	○	○		
	1024 x 768	68.7	85	－	－	○	○		
	1024 x 768	97.6	120	－	－	○(3D:FS)	○(3D:FS)		
	1152 x 870	68.68	75.06	－	－	MAC21	MAC21		
	1280 x 720	45	60	－	－	○○(3D:FS、TB、SBS)	○(3D:FS、TB、SBS)		
	1280 x 720	90	120	－	－	○(3D:FS)	○(3D:FS)	○	
	1280 x 768 (プランキング 減少)	47.4	60	－	－	○○(3D:FS、TB、SBS)	○(3D:FS、TB、SBS)		
	1280 x 768	47.8	59.9	－	－	○○(3D:FS、TB、SBS)	○(3D:FS、TB、SBS)		
	1280 x 800	49.7	59.8	－	－	○○(3D:FS、TB、SBS)	○(3D:FS、TB、SBS)		
	1280 x 800	62.8	74.9	－	－	○	○		
	1280 x 800	71.6	84.9	－	－	○	○		
	1280 x 800	101.6	119.9	－	－	○(3D:FS)	○(3D:FS)		
	1280 x 1024	64	60	－	－	○ (3D:TB、SBS)	○(3D:TB、SBS)		
	1280 x 1024	80	75	－	－	○	○		
	1280 x 1024	91.1	85	－	－	○	○		
	1280 x 960	60	60	－	－	○ (3D:TB、SBS)	○(3D:TB、SBS)		
	1280 x 960	85.9	85	－	－	○	○		
	1400 x 1050	65.3	60	－	－	○ (3D:TB、SBS)	○(3D:TB、SBS)		
	1440 x 900	55.9	59.9	－	－	○ (3D:TB、SBS)	○(3D:TB、SBS)		
	1600 x1200	75	60	－	－	○ (3D:TB、SBS)	○ (3D:TB、 SBS)	○(3D:TB)	
	1680 x1050 (プランキング 減少)	64.67	59.88	－	－	○(3D:TB、SBS)	○(3D:TB、SBS)		
	1680 x1050	65.29	59.95	－	－	○(3D:TB、SBS)	○(3D:TB、SBS)		
	1920 x 1080	67.5	60	－	－	○(3D:TB、FS、SBS)	○(3D:TB、FS、SBS)		

信号	解像度	水平同期 (KHz)	垂直同期 (Hz)	コンポジット S ビデオ	コンポー ネント	VGA/BNC (アナログ)	DVI	HDMI	HDBaseT
							(デジタル)		
VESA	1920 x 1200 (プランキング 減少)	74.038	59.95	-	-	○(3D:TB, FS, SBS)	○(3D:TB, FS, SBS)		
	1280 x 1024	130	120 (プランキ ング減少)	-	-	-	-	○	-
	1400 x 1050	93.9	85	-	-	-	-	○	-
	1440 x 900	114.2	120 (プランキ ング減少)	-	-	-	-	○	-
	1600 x 1200	87.5	70	-	-	-	-	○	-
	1600 x 1200	93.8	75	-	-	-	-	○	-
	1600 x 1200	106.3	85	-	-	-	-	○	-
	1600 x 1200	152.4	120 (プランキ ング減少)	-	-	-	-	○	-
	1680 x 1050	82.3	75	-	-	-	-	○	-
	1680 x 1050	93.9	85	-	-	-	-	○	-
	1680 x 1050	133.4	120 (プランキ ング減少)	-	-	-	-	○	-
	1920 x 1200	74.6	60	-	-	-	-	○(3D:TB, FS, SBS)	-
	1920 x 1200	94	75	-	-	-	-	○	-
	1920 x 1200	107.2	85	-	-	-	-	○	-
	3840 x 2160	53,946	23.976	-	-	-	-	○	
	3840 x 2160	54	24	-	-	-	-	○	
	3840 x 2160	56.25	25	-	-	-	-	○	
	3840 x 2160	67.5	30	-	-	-	-	○	
	3840 x 2160	112.5	50	-	-	-	-	○	
	3840 x 2160	135	60			-	-	○	

SDTV	480i	15.734	60	–	○	–	–	(3D:FS)
	576i	15.625	50	–	○	–	–	
EDTV	576p	31.3	50	–	○	–	–	
	480p	31.5	60	–	○	–	–	(3D:FS)
HDTV	720p	37.5	50	–	○	–	–	(3D:FP、TB、SBS)
	720p	45	60	–	○	–	–	(3D:FP、TB、FS、SBS)
	1080i	33.8	60	–	○	–	–	
	1080i	28.1	50	–	○	–	–	(3D:SBS)
	1080p	27	24	–	○	–	–	
	1080p	28	25	–	○	–	–	
	1080p	33.7	30	–	○	–	–	
	1080p	56.3	50	–	○	–	–	(3D:TB、SBS)
	1080p	67.5	60	–	○	–	–	(3D:TB、SBS)

○ : サポートされる周波数

- : サポートされない周波数

FS ⇒ フィールドシーケンシャル

TB ⇒ トップアンドボトム

SBS ⇒ サイドバイサイド

FP ⇒ フレームパッキング

パネルのネイティブ解像度は 1920 x 1200 です。テキストまたはラインのサイズが不規則な場合、ネイティブ解像度以外の解像度が表示されます。

SDTV \ EDTV \ HDTV は多少のノイズがある場合がありますが、許容範囲です。

7. 法規制の順守

FCC警告

本装置はテストされ、FCC 規則のパート 15 に基づくクラス A デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。この制限は、装置を商業地域で使用する場合に、有害な電波障害に対する適切な保護を提供するために規定されています。

本装置は、高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。munications. 本装置を住宅地で使用すると、有害な電波障害を引き起こす可能性があります。その場合は、ユーザー側の負担で電波障害を修正しなければなりません。

適合の責任団体による明確な承認を受けずに、変更したり改造した場合は、装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

カナダ

このクラスBデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

安全性認定

FCC クラス A、CE、C-tick、CCC、KC/KCC、CU、CB、BIS、RoHS、PSB、ICES-003 (カナダ)、cTUVus、BSMI、中国 CECF

廃棄とリサイクル

本製品には適切に廃棄しない場合、有害となるその他の家電系廃棄物が含まれています。国または地方自治体の法または条例に従って、リサイクルまたは廃棄してください。詳細については、米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

8. RS-232 通信

通信パラメータの設定

シリアル制御コマンドを使用して、プロジェクター制御用コマンドを入力したり、Windows クライアントターミナルソフトウェアを通して、動作データを取得したりできます。

項目	パラメータ:
ビット毎秒	9600 bps
データビット	8 ビット
パリティ	なし
停止ビット	1
フロー制御	なし

操作コマンド

操作コマンドの文法

操作コマンドは、先頭に文字「op」が付けられます。次にスペース [SP] で区切られた制御コマンドと設定が続き、改行 ([CR] と「アスキー 16 進コードの [0D]」) で終わります。シリアル制御コマンドの文法は次の通りです。

op[SP]<操作コマンド>[SP]<設定値>[CR]

op これが操作コマンドであることを示す定数。

[SP] 1 つのスペースを示します。

[CR] コマンドが改行 ([CR] と「アスキー 16 進コードの [0D]」) で終わることを示します。

設定値 操作コマンドの設定

設定文字列のタイプ	設定文字	説明
現在の設定を問い合わせる	?	疑問符「?」は、現在の設定の問い合わせを表します
設定	= <設定>	構文: 記号「=」の後に設定値が続きます
調整項目の設定順序を上げます	+	設定をステップ単位で変更します。記号「+」は、1 ステップ上げることを表します
調整項目の設定順序を下げます	-	設定をステップ単位で変更します。記号「-」は、1 ステップ下げることを表します
操作コマンドを実行する	なし	特定の操作コマンドは、入力後、さらなる設定または調整なしで実行されます。

例:		
制御項目	入力コマンド行	プロジェクターの返すメッセージ
現在の輝度を問い合わせる	op bright ?[CR]	OP BRIGHT = 50
輝度を設定する	op bright = 100[CR]	OP BRIGHT = 100
範囲外または未サポートです	op bright = 200[CR]	OP BRIGHT = NA
不正なコマンド	op abright = 100[CR]	*不正な形式#

関数	操作	Set	Get	Inc	Dec	EXE	値
Auto Source	auto.src	V	V				0 = Off 1 = On
HDMI Color Space	color.space	V	V				0 : Auto 1 : RGB 2 : YUV
HDMI Range	hdmi.range	V	V				0 : Auto 1 : Full 2 : Limited
HDMI Format	hdmi.format	V	V				0 : Auto 1 : RGB Limited 2 : RGB Full 3 : YUV Limited 4 : YUV Full
Video AGC	video.agc	V	V				0 : Off 1 : On
Video Saturation	video.saturation	V	V	V	V		0 ~ 100
Video Tint	video.tint	V	V	V	V		0 ~ 100
Closed Caption	cc	V	V				0 : Off 1 : On
H Position	h.pos	V	V	V	V		-5 ~ +5 -100 ~ +100 (Auto Sync Off)
V Position	v.pos	V	V	V	V		-5 ~ +5 -100 ~ +100 (Auto Sync Off)
Phase	phase	V	V	V	V		0 ~ 31
clock	clock	V	V	V	V		-5 ~ +5
Auto Sync	auto.sync	V	V				0 : Off 1 : On
HDBaseT Control	hdbaset	V	V				0 : Off 1 : On
HDBaseT Connect	hdbaset.connect		V				0 : Disconnect 1 : Connected
3D	threed	V	V				0 : DLP-Link 1 : IR
3D Sync Invert	threed.syncinvert	V	V				0 = Off 1 = On
3D Format	threed.format	V	V				0 : Auto 1 : Top / Bottom 2 : Frame Sequential 3 : Frame Packing 4 : Side by side 5 : Off
3D Sync Out Delay	threed.syncdelay	V	V				0 ~ 359
3D Sync Input	threed.syncinput		V				0 : Internal 1 : External
3D Sync Output	threed.syncoutput	V	V				0 : Internal 1 : External

関数	操作	Set	Get	Inc	Dec	EXE	値
Picture Mode	pic.mode	V	V				0:Presentation 1:Bright 2:Game 3:Movie 4: Vivid 5: Blending 6: sRGB 7:DICOM SIM 8:User 9: 3D 10: HDR 10
Brightness	bright	V	V	V	V		0 ~ 100
Contrast	contrast	V	V	V	V		0 ~ 100
HDR Control	hdr.control	V	V				0 : Auto 1 : Off 2 : HDR 10
HDR Mode	hdr.mode	V	V				0 : PQ-L300 1 : PQ-L400 2 : PQ-L500 3 : PQ-L600 4 : PQ-L700
Dynamic Black	dblack	V	V				0 = Off 1 = On
"Projector Light (Light Off Timer)"	projector.light	V	V				0 : Disable 1: 1 Sec 2: 2 Sec 3: 3 Sec 4: 4 Sec
HSG/Red Gain	hsg.r.gain	V	V	V	V		5 ~ 195
HSG/Green Gain	hsg.g.gain	V	V	V	V		5 ~ 195
HSG/Blue Gain	hsg.b.gain	V	V	V	V		5 ~ 195
HSG/Cyan Gain	hsg.c.gain	V	V	V	V		5 ~ 195
HSG/Magenta Gain	hsg.m.gain	V	V	V	V		5 ~ 195
HSG/Yellow Gain	hsg.y.gain	V	V	V	V		5 ~ 195
HSG/Red/Saturation	hsg.r.sat	V	V	V	V		0 ~ 199
HSG/Green/Saturation	hsg.g.sat	V	V	V	V		0 ~ 199
HSG/Blue/Saturation	hsg.b.sat	V	V	V	V		0 ~ 199
HSG/Cyan/Saturation	hsg.c.sat	V	V	V	V		0 ~ 199
HSG/Magenta/Saturation	hsg.m.sat	V	V	V	V		0 ~ 199
HSG/Yellow/Saturation	hsg.y.sat	V	V	V	V		0 ~ 199
HSG/Red/Hue	hsg.r.hue	V	V	V	V		-99 ~ 99
HSG/Green/Hue	hsg.g.hue	V	V	V	V		-99 ~ 99
HSG/Blue/Hue	hsg.b. hue	V	V	V	V		-99 ~ 99
HSG/Cyan/Hue	hsg.c. hue	V	V	V	V		-99 ~ 99
HSG/Magenta/Hue	hsg.m. hue	V	V	V	V		-99 ~ 99
HSG/Yellow/Hue	hsg.y. hue	V	V	V	V		-99 ~ 99
HSG/White/Red Gain	hsg.wr.gain	V	V	V	V		0 ~ 399
HSG/White/Green Gain	hsg.wg.gain	V	V	V	V		0 ~ 399
HSG/White/Blue Gain	hsg.wb.gain	V	V	V	V		0 ~ 399
Brilliant Color	bri.color	V	V	V	V		0 ~ 10
Sharpness	sharp	V	V	V	V		0 ~ 31

関数	操作	Set	Get	Inc	Dec	EXE	値
Gamma	gamma	V	V				0 = 1.8 1 = 2.0 2 = 2.2 3 = 2.4 4 = B&W 5 = Linear
Color Temperature	color.temp	V	V				0 = Warm 1 = Normal 2 = Cold
Input Balance /Red Offset	red.offset	V	V	V	V		-100 ~ +100
Input Balance /Green Offset	green.offset	V	V	V	V		-100 ~ +100
Input Balance /Blue Offset	blue.offset	V	V	V	V		-100 ~ +100
Input Balance /Red Gain	red.gain	V	V	V	V		0 ~ 200
Input Balance /Green Gain	green.gain	V	V	V	V		0 ~ 200
Input Balance /Blue Gain	blue.gain	V	V	V	V		0 ~ 200
Picture Mode Reset	pic.mode.reset	V					0 = Current 1 = All
Aspect Ratio	aspect	V	V				0 = Fill 1 = 4:3 2 = 16:9 3 = LetterBox 4 = 2.35:1 5 = 16:10 6 = Auto
Digital Zoom	digi.zoom.in	V	V	V	V		0 ~ +10
	digi.zoom.out	V	V	V	V		-40 ~ 0
H Image Shift	img.hshift	V	V	V	V		-50 ~ +50
V Image Shift	img.vshift	V	V	V	V		-50 ~ +50
V Keystone	v.keystone	V	V	V	V		-30 ~ +30
H Keystone	h.keystone	V	V	V	V		-30 ~ +30
Auto Keystone	auto.keystone	V	V				0 = Off 1 = On
4 Corner Top Left X	4corner.tlx	V	V	V	V		0 ~ +60
4 Corner Top Left Y	4corner.tly	V	V	V	V		0 ~ +60
4 Corner Top Right X	4corner.trx	V	V	V	V		0 ~ +60
4 Corner Top Right Y	4corner.try	V	V	V	V		0 ~ +60
4 Corner Bottom Left X	4corner.blx	V	V	V	V		0 ~ +60
4 Corner Bottom Left Y	4corner.bly	V	V	V	V		0 ~ +60
4 Corner Bottom Right X	4corner.brx	V	V	V	V		0 ~ +60
4 Corner Bottom Right y	4corner.bry	V	V	V	V		0 ~ +60
4 Corner Reset	4corner.reset					V	
Mask Top	mask.top	V	V	V	V		0 ~ 100
Mask Bottom	mask.bottom	V	V	V	V		0 ~ 100
Mask Left	mask.left	V	V	V	V		0 ~ 100
Mask Right	mask.right	V	V	V	V		0 ~ 100
Projection	projection	V	V				0 = Front 1 = Rear 2 = Ceiling 3 = Rear + Ceiling
Screen Format	screen.format	V	V				0 : 16:10 1 : 16:9 2 : 4:3 3: 2.35:1

関数	操作	Set	Get	Inc	Dec	EXE	値
Screen Position	screen.shift	V	V	V	V		16:10 : Not Available 16:9 : -60 ~ 60 4:3 : -160 ~ 160 2.35:1 : -191 ~ 191
Alignment Reset	align.reset					V	
Test Pattern	test.pattern	V	V				0 = Grid 1 = White 2 = Red 3 = Green 4 = Blue 5 = Black 6 = RGB Ramps 7 = Color Bar 8 = Setp Bar 9 = CheckBoard 10 = Horizontal Lines 11 = Vertical Lines 12 = Diagnoal Lines 13 = Horizontal Ramps 14 = Vertical Ramps 15 = Off
Direct Power On	direct.poweron	V	V				0 : Off 1 : On
Signal Power On VGA	signal.poweron.vga	V	V				0 : Off 1 : On
Signal Power On HDMI	signal.poweron.hdmi	V	V				0 : Off 1 : On
Light Mode	light.mode	V	V				0: Normal 1: ECO 2: Custom Light
Custom Light	custom.light	V	V	V	V		25 ~ 100
Fan Speed	fanspeed	V	V				0 = Normal 1 = High
IR Control	ir.control	V	V				0 : Front + Rear IR On 1 : Front IR On 2 : Rear IR On 3 : Front + Rear IR Off
Remote ID	remote.id	V	V				0 ~ 99
HDMI1 EDID	edid.mode.hdmi1	V	V				0 : Enhanced 1 : Standard
HDMI2 EDID	edid.mode.hdmi2	V	V				0 : Enhanced 1 : Standard
HDBaseT EDID	edid.mode.hdbt	V	V				0 : Enhanced 1 : Standard
NetWork Status	net.status		V				0 : Disconnect 1 : Connected
NetWork / DHCP	net.dhcp	V	V				0 = Off 1 = On
NetWork / IP Address	net.ipaddr	V	V				<string>
NetWork / Subnet	net.subnet	V	V				<string>
NetWork / Gateway	net.gateway	V	V				<string>
NetWork / DNS	net.dns	V	V				<string>
NetWork Apply	net.apply	V					0 : Cancel 1 : OK

関数	操作	Set	Get	Inc	Dec	EXE	値
Standby Power	standby.power	V	V				0: Normal 1: ECO 2: On By Lan 3: On By HDBaseT
No Signal Power Off	nosignal.poweroff	V	V				0 ~ 36
Sleep Timer	sleep.timer	V	V				0 ~ 120
Volume	volume	V	V	V	V		0 ~ 10
Mic Volume	mic.volume	V	V	V	V		0 ~ 10
Mic	mic	V	V				0 : Off 1 : On
Air Filter Hours	airfilter.hours		V				<string>
Air Filter Time Reminder	airfilter.reminder	V	V				0 : Off (default) 1 : 300 Hrs 2 : 500 Hrs 3 : 1000 Hrs 4 : 1500 Hrs 5 : 2000 Hrs
Air Filter Reset Timer	airfilter.reset					V	
Rental Mode Password Reset	rental.pwd.reset					V	
Constant Brightness	laser.cbc.enable	V	V				0 : Off 1 : On
Blank Screen Color	blankscreen.color	V	V				0 = Logo 1 = Black 2 = Red 3 = Green 4 = Blue 5 = White
Logo	logo	V	V				0 = Std. 1 = Black 2 = Blue
Message	message	V	V				0 : Off 1 : On
MENU Position	menu.position	V	V				0 : Center 1 : Up 2 : Down 3 : Left 4 : Right
MENU Timer	menu.timer	V	V				0 : Off 1 : 20 sec. 2 : 40 sec. 3 : 60 sec.
MENU Translucent	menu.trans	V	V				0 : Off 1 : 50% 2 : 100%
Keypad Lock	keypad.lock	V	V				0 : Off 1 : On
Security Lock	security.lock	V	V				1 : Up 2 : Down 3 : Left 4 : Right
Security Unlock	security.unlock	V					1 : Up 2 : Down 3 : Left 4 : Right

関数	操作	Set	Get	Inc	Dec	EXE	値
Language	lang	V	V				0 = English 1 = French 2 = German 3 = Spanish 4 = Portugues 5 = Simplified Chinese 6 = Traditional Chinese 7 = Italian 8 = Norwegian 9 = Swedish 10 = Dutch 11 = Russian 12 = Polish 13 = Finnish 14 = Greek 15 = Korean 16 = Hungarian 17 = Czech 18 = Turkish 19 = Japanese 20 = Danish
Reset All	reset.all					V	
Source Info	source.info		V				<string>
Light Hours 1	light1.hours		V				<string>
Light Hours 1 Reset	light1.reset					V	
Remote Code	remote.code		V				<string>
Software Version	sw.ver		V				<string>
Serial Number	ser.no		V				<string>
Auto Image	auto.img					V	
Light 1 Status	light1.stat		V				0 = Off 1 = On
Model	model		V				<string>
Pixel Clock	pixel.clock		V				<string>
H Refresh Rate	h.refresh		V				<string>
V Refresh Rate	v.refresh		V				<string>
Blank	blank	V	V				0 = Off 1 = On
Power On	power.on					V	
Power Off	power.off					V	
Projector Status	status		V				0 : Reset 1 : Standby 2 : Active 3 : Cooling 4 : Warmup 5 : Powerup 6 : Failure
Mute	mute	V	V				0 : Off 1 : On
Freeze	freeze	V	V				0 : Off 1 : On
Internal Speaker	speaker	V	V				0 : Off 1 : On

関数	操作	Set	Get	Inc	Dec	EXE	値
Input Select	input.sel	V	V				1:VGA 2: RGB2 3: DVI 4: Video 5: S-Video 6: HDMI 1 7: BNC 8: Component 9: HDMI 2 15: HDBaseT
Art-Net Enable	artnet.enable	V	V				0 = Off 1 = On (2.X.X.X) 2 = On (10.X.X.X) 3 = On (Manual)
Art-Net Net	artnet.net	V	V				0 ~ 127
Art-Net SubNet	artnet.subnet	V	V				0 ~ 15
Art-Net Universe	artnet.universe	V	V				0 ~ 15
Art-Net Start Address	artnet.start.addr	V	V				1 ~ 508
Art-Net Apply	artnet.apply	V	V				0 : Cancel 1 : OK
Art-Net Channel 1 Function	artnet.ch1.func	V	V				0 = None 1 = Power 2 = PIC-MUTE 3 = Power Level 4 = Input 5 = Channel Control
Art-Net Channel 2 Function	artnet.ch2.func	V	V				0 = None 1 = Power 2 = PIC-MUTE 3 = Power Level 4 = Input 5 = Channel Control
Art-Net Channel 3 Function	artnet.ch3.func	V	V				0 = None 1 = Power 2 = PIC-MUTE 3 = Power Level 4 = Input 5 = Channel Control
Art-Net Channel 4 Function	artnet.ch4.func	V	V				0 = None 1 = Power 2 = PIC-MUTE 3 = Power Level 4 = Input 5 = Channel Control
Art-Net Channel 5 Function	artnet.ch5.func	V	V				0 = None 1 = Power 2 = PIC-MUTE 3 = Power Level 4 = Input 5 = Channel Control

Lens related function

Function	Operation	Set	Get	Inc	Dec	EXE	Values
Lens Lock	lens.lock	V	V				0: off 1:on
Lens zoom in	zoom.in					V	
Lens zoom in 2	zoom.in.2					V	
Lens zoom in 3	zoom.in.3					V	
Lens zoom out	zoom.out					V	
Lens zoom out 2	zoom.out.2					V	
Lens zoom out 3	zoom.out.3					V	
Lens focus near	focus.near					V	
Lens focus near 2	focus.near.2					V	
Lens focus near 3	focus.near.3					V	
Lens focus far	focus.far					V	
Lens focus far 2	focus.far.2					V	
Lens focus far 3	focus.far.3					V	
Lens up	lens.up					V	
Lens up 2	lens.up.2					V	
Lens up 3	lens.up.3					V	
Lens down	lens.down					V	
Lens down 2	lens.down.2					V	
Lens down 3	lens.down.3					V	
Lens left	lens.left					V	
Lens left 2	lens.left.2					V	
Lens left 3	lens.left.3					V	
Lens right	lens.right					V	
Lens right 2	lens.right.2					V	
Lens right 3	lens.right.3					V	
Lens center	lens.center					V	
Lens type	lens.type	V	V				0 : Non-UST Lens 1 : UST Lens
Lens load	lens.load	V					1~8
Lens save	lens.save	V					1~8
Lens clear	lens.clear	V					1~8

9. サービス

ヨーロッパ、中東、アフリカ

Vivitek Service & Support
Zandsteen 15
2132 MZ Hoofddorp
The Netherlands
Tel: Monday - Friday 09:00 - 18:00
English (UK): 0333 0031993
Germany: 0231 7266 9190
France: 018 514 8582
Russian: +7 (495) 276-22-11
International: +31 (0) 20 721 9318
Email: support@vivitek.eu
URL: <http://www.vivitek.eu/support/contact-support>

北米

Vivitek Service Center
15700 Don Julian Road, Suite B
City of Industry, CA. 91745
U.S.A
Tel: 855-885-2378 (Toll-Free)
Email: T.services1@vivitekcorp.com
URL: www.vivitekusa.com

アジアと台湾

Vivitek Service Center
16 Tungyuan Rd., Chungli Industrial Zone,
Taoyuan City 320023, Taiwan
Tel: 886-3-4526107, ext. 8213 (Direct)
Tel: 0800-042-100 (Toll-Free)
Email: wendy.cheng@deltaww.com
URL: www.vivitek.com.tw

中国/China

Vivitek客服中心
上海市浦东新区华东路1675号1幢1层、7-8层
邮政编码: 201209
400客服热线: 400 888 3526
公司电话: 021-58360088
客服邮箱: service@vivitek.com.cn
官方网站: www.vivitek.com.cn



Visit www.vivitekc corp.com for more product info
Copyright (c) 2023 Delta Electronics, Inc. All Rights Reserved

A brand of  **DELTA**